

arraTM flex

取扱説明書 / 保証書



ECE R129 適合チャイルドシート
適応身長 40cm-87cm まで
適応体重 2.5kg-13kg まで

2502(00)

AVA[®]

重要！

本取扱説明書は、必要なときにいつでも参照できるよう、大切に保管してください。

本取扱説明書を熟読して、内容を理解した上で本製品をご使用ください。



必ずお読みください

本製品は、自動車の座席に取り付けてチャイルドシートとして使用することができるベビーシートです。

本製品は、最新の安全基準に適合するチャイルドシートですが、使用方法を誤ると、所定の安全性能を発揮できないばかりか、お子さまのみならず他の乗員の方や保護者の方の安全にも重大な影響をおよぼすおそれがあります。

安全に本製品を使用するため、あらかじめ本取扱説明書を熟読し、内容を十分に理解した上で本製品を使用してください。

本取扱説明書は、大切に保管して必要なときにいつでも取り出して参照できるようにしておいてください。

もくじ

はじめにお読みください	4	使いかた	37
ユーザー登録のお願い	4	キャノピーの取り外しかた	38
nunababy.com	4	キャノピーの取り付けかた	39
チャイルドシートについて	5	キャリーハンドル	40
本製品の重要な情報	6	お子さまの乗せかた	41
適合車種一覧	6	自動車の座席への取り付けかた	44
表記の説明	7	3点式シートベルトによる取り付け	44
本取扱説明書で使用するイラストについて	8	ISOFIX ベース (別売) による取り付け	52
その他の表記について	8	nuna BASE next (別売) の取り付けかた	52
使用可能なお子さまの範囲	9	nuna BASE next (別売) の準備	57
最初にご確認ください	10	本製品の取り付け	58
内容物の確認	10	nuna BASE next (別売) の回転機構	61
各部の名称	11	本製品の取り外し	62
自動車に関する各部の名称	12	その他の使いかた	63
インファントインサートの使用	13	ベビーキャリーとして使用する	64
自動車の座席への取り付けに関して	14	ロッキングチェア・インファントチェア	
取り付け、使用可能な座席の位置と向き	14	として使用する	66
ISOFIX ベース	14	ベビーカー用のシートとして使用する	68
本製品を取り付けできない座席	15	お手入れのしかた	68
3点式シートベルトについて	17	カバー類の取り外し、取り付け	68
取扱説明書の携行	18	キャノピー	69
使用上の注意	18	インファントインサート	69
緊急時の操作	30	股ベルトパッド	69
基本的な使いかた	31	肩ベルトパッド	70
バックルの使いかた	31	シートカバー	70
バックルの外しかた	31	ヘッドサポートカバー	74
バックルの留めかた	31	お手入れの方法	75
ハーネスの長さ調節	32	カバー類	75
ゆるめかた	33	キャノピー	76
締めかた	33	本体 (ISOFIX コネクター部を除く)	76
ハーネス・ヘッドサポートの高さ調節	34	ハーネス・ベルト類・受けバックル	
バックレストの調節	35	・差込みタンク	77
インファントインサート	36	保管のしかた	77
取り外しかた	36	廃棄のしかた	77
取り付けかた	37	保証書	78
キャノピー	37		

はじめにお読みください

ユーザー登録のお願い

チャイルドシートをご使用いただくにあたって、国土交通省推奨によるユーザー登録へのご協力をお願いいたしております。本製品は、日本国内で使用を認められているチャイルドシート基準の ECE 基準に適合しております。本製品は、当該基準に適合するよう万全の注意をもって製造されていますが、万が一基準に適合しない製品が発生し、かつその製品が出荷されてしまった場合、直ちにその製品を入手されたお客様にご連絡を差し上げ、対象となった製品を修理する必要があります。

このような場合に、迅速にお客様に情報をお伝えし適切に対応できるよう、お客様にはユーザー登録をお願いいたしております。

同梱の「ユーザー登録はがき」または、下記の弊社ホームページよりご登録ください。お預かりしたお客様の個人情報は、弊社が管理し、お客様の承諾を得ない限り、この緊急の連絡の目的にのみ利用させていただきます。

<https://www.katoji.co.jp/childseat.html>



nunababy.com

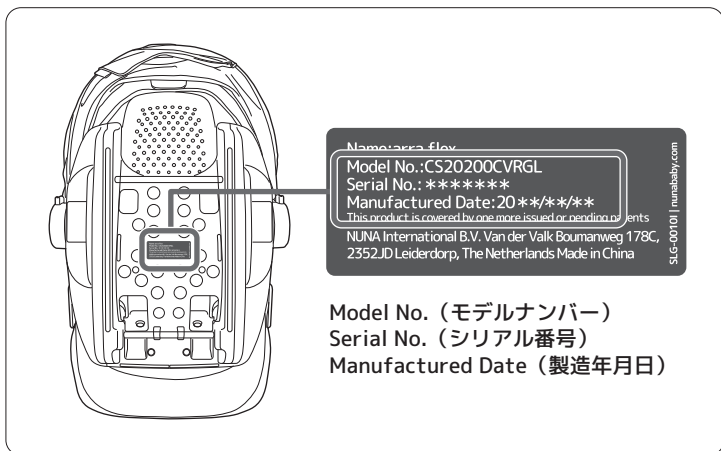
info@nunababy.com
www.nunababy.com

NUNA への製品の登録について

www.nunababy.com より nuna への製品登録が可能ですが、現在、日本語での表記はございません。

日本国内においては、輸入販売元の株式会社カトージにおいて、ユーザー登録、保証サービス、サポートを行っておりますので、上記 URL からご登録いただくか、同梱のユーザー登録はがきによりご登録をお願いいたします。

ユーザー登録に必要な情報は、本製品の底面に記載されています。



チャイルドシートについて

チャイルドシートは、万が一の交通事故の際や自動車の急制動（急発進、急停止、急なハンドル操作など）によって生じる、お子さまへの負担や衝撃を軽減することを目的としており、お子さまを交通事故や急制動により生じる負担や衝撃から無傷で守る事を保証する製品ではありません。

また、チャイルドシートが正しく取り付けられていなかったり、お子さまの身体がチャイルドシートに正しく固定されていなかったり、お子さまの体重や体格に適さない状態でチャイルドシートを使用したりすると、交通事故や急制動時に本製品が所定の性能を発揮できないばかりか、本製品が動くなどして、お子さまの安全のみならず、他の同乗者の安全にも重大な影響をおよぼすおそれがあります。

本製品を使用するにあたっては、本取扱説明書の記載内容および本製品本体の表記に従って、常に正しく使用してください。

また、どれほど短い距離、どれほど短時間のドライブであろうとも、チャイルドシートを常に正しく使用するとともに、慎重で安全な運転を心がけるようにしてください。

本製品の重要な情報

● 3点式シートベルトで固定して使用するチャイルドシートです

- 1 本製品は、ユニバーサルベルト付き強化型チャイルドシートです。これは UN Regulation No.129/03 に従って承認されており、自動車の取扱説明書において「ユニバーサル・シート・ポジション」であると指定されている座席で使用することができます。

取り付け可能な車種と座席については「適合車種一覧」を参照してください。

- 2 ご不明な点については、チャイルドシートのメーカーまたは保証書欄に記載のお問い合わせ先、お買い求めになった販売店にお問い合わせください。

● ISOFIX ベースに取り付けて使用するチャイルドシートです

- 1 本製品は「i-Size」強化型チャイルドシートです。これは UN Regulation No.129/03 に従って承認されており、自動車の取扱説明書において「i-Size 対応」のシートポジションと指定している座席に ISOFIX で固定された、本製品が対応する ISOFIX ベースに取り付けて使用することができます。

本製品は ISOFIX ベースの「nuna BASE next」に対応しています。

それ以外の ISOFIX ベースに関しては、当社が対応すると明示していない限り取り付け、使用しないでください。

また、自動車の取扱説明書において「i-Size 対応」との表記がない場合でも、使用可能な場合がありますので「適合車種一覧」を参照してください。

- 2 ご不明な点については、チャイルドシートのメーカーまたは保証書欄に記載のお問い合わせ先またはお買い求めになった販売店にお問い合わせください。

適合車種一覧

以下のホームページに掲載の適合車種一覧において、本製品を取り付けて使用できる車両の情報が記載されています。

<https://katoji.co.jp/user-carseat/index.html>



● 3 点式シートベルトを使用する場合

本製品は 3 点式リトラクタブルシートベルトによってのみ固定することができます。自動車の取扱説明書において「ユニバーサル・シートポジション」と指定されている座席に取り付けて使用することができます。適合車種一覧をご確認ください。


● ISOFIX ベースを使用する場合


本製品は、i-Size 規格に適合しており、当社が指定する ISOFIX ベースに取り付けて使用することができますが、実際にお使いになる前に、必ず適合車種一覧で適合の可否をご確認ください。


表記の説明

本取扱説明書では、本製品を使用するにあたって特にご注意、ご留意いただく事項を「危険」「警告」「注意」に区分し、強調して表記しております。

この表記に付随して記載されている内容を無視すると、本製品をご使用になるお子さまや保護者の方、また、周りにいる方や物品に損害をおよぼすおそれがありますので、必ずこれらの内容を十分に理解した上でご使用ください。

 **危険** この表記に付随して記載されている内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

 **警告** この表記に付随して記載されている内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

 **注意** この表記に付随して記載されている内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。

 警告や注意を促す事柄を示しています。

 禁止事項を示します。

 この表記に付随して記載されている事柄は正しい状態にあることを示します。

 この表記に付随して記載されている事柄は、誤った状態にあることを示します。

ISO

この表記がある場合は、本製品を ISOFIX ベースに取り付けた状態で使用する際の事柄が示されています。

3点式

この表記がある場合は、本製品を単体の状態で使用する際の事柄が示されています。

上図の表記がない場合は、いずれの状態での使用においても共通する事柄を示します。ただし、重要な事柄が記載されている場合がありますので、上図の表記に関わらず本書に記載のすべての項目をお読みいただき、内容を理解した上で本製品をご使用ください。

本取扱説明書で使用するイラストについて

本取扱説明書で使用しているイラストは、より理解しやすくするために、大きさの比率の変更、強調、誇張などをおこなっており、実際とは異なる部分があります。あらかじめご了承ください。

その他の表記について

💡ポイント

「ポイント」と表記された枠に記載されている事項は、本製品をご使用いただくにあたって知っておいていただきたいこと、また、本製品をより便利に使用していただくための大切な情報です。

使用可能なお子さまの範囲

本製品を使用できるお子さまの範囲と条件は、本製品の適合する UN Regulation No.129/03 の基準によって定められています。

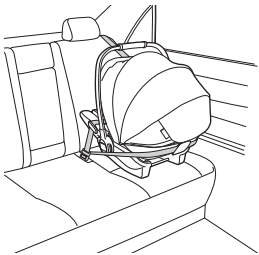

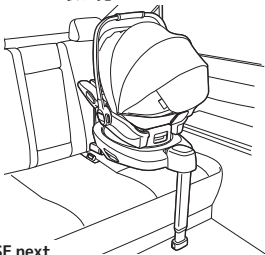
本製品の取付方法と使用方法に関わらず、使用できるお子さまの範囲は同一です。

この範囲にあてはまらない、また本取扱説明書に記載されている条件に適合しない場合は本製品を使用しないでください。

本製品は、**体重 2.5kg 以上の新生児***からご使用いただけます。

※ここでいう新生児とは、体重 2.5kg 以上かつ在胎週数 37 週以上で出生したお子さまを指します。

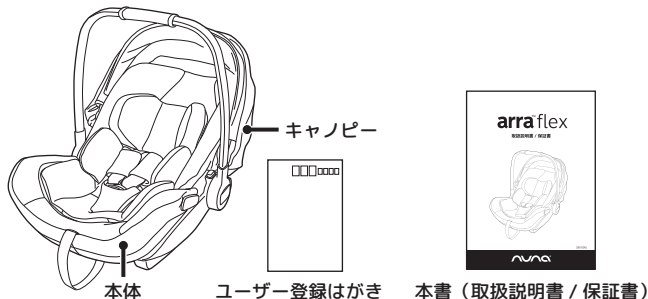
⚠危険 使用可能なお子さまの範囲に満たない、または超えての使用は、思わぬ事故につながるおそれがあります。必ず「使用可能なお子さまの範囲」を遵守してください。

取付方法	使用可能なお子さまの範囲
<p>3点式シートベルトによる固定</p> 	<p>身長：40cm～87cm まで 体重：13kg 以下 (2.5kg 以上)</p> 
<p>ISOFIX ベースに取り付け</p>  <p>nuna BASE next</p>	<p>インファントインサート インファントインサートにより側面衝突保護が強化されます。お子さまが身長 60cm を超えるまではインファントインサートをご使用ください。インファントインサートには背面部にウレタンクッションが縫い付けられていますが、ウレタンクッションを取り外して使用することはできません。お子さまが成長して肩が窮屈な状態になったらインファントインサートを取り外してください。</p>

最初にご確認ください

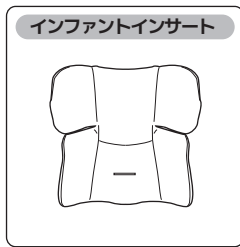
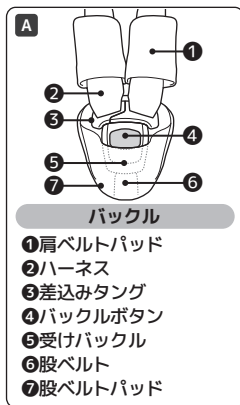
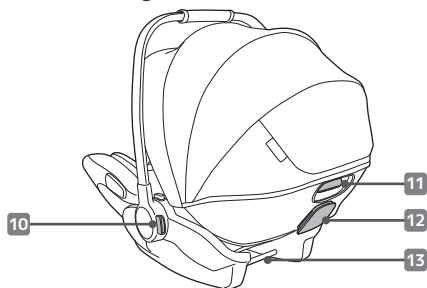
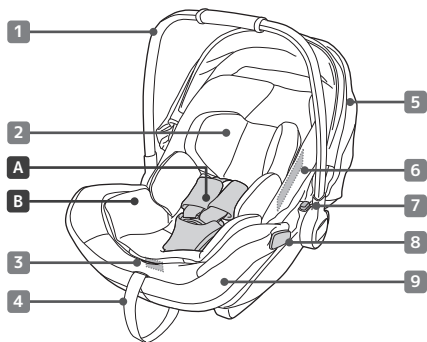
内容物の確認

本製品には、次のものが同梱されています。すべてのものが揃っていることを確認してください。万が一、足りないもの、破損しているものがある場合、そのままご使用にならず、大変お手数ですが巻末の保証書に記載のお客様サービスまでご連絡ください。



⚠️ 注意 本製品が入っていたビニール袋などの梱包材は、本製品開梱後は直ちにお子さまの手の届かない場所に廃棄してください。

各部の名称

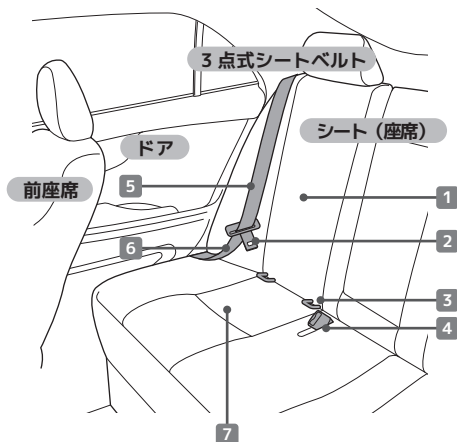


- 1 キャリーハンドル
- 2 ヘッドサポート
- 3 ベルトアジャスター
- 4 アジャスターベルト
- 5 キャノピー
- 6 取扱説明書コンパートメント
- 7 ポストアダプターリリースボタン

- 8 腰ベルトガイド (左右)
- 9 シートカバー
- 10 ハンドルアジャストボタン
- 11 バックレストアジャストレバー
- 12 肩ベルトガイド
- 13 取り付けバー (前後)

自動車に関わる各部の名称

本取扱説明書においては、本製品を取り付ける自動車の部位、部品に関して言及している箇所があります。本取扱説明書においては以下の通りの名称を用います。



- | | |
|---------------|-----------|
| 1 シート背もたれ | 5 シート肩ベルト |
| 2 シートベルトタング | 6 シート腰ベルト |
| 3 ISOFIX 固定装置 | 7 シート座面 |
| 4 シートベルトバックル | |

⓪ポイント 自動車の取扱説明書（オーナーズマニュアル）においては、別の名称で記載されている場合があります。必要に応じて、上図を参照し、自動車の取扱説明書の表記と照合するようにしてください。

インファントインサートの使用



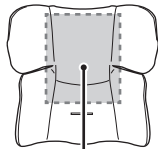
インファントインサートを使用することにより、側面からの衝撃に対する保護が強化されます。お子さまの身長が60cmを超えるまではインファントインサートを使用してください。

身長が60cmを超え、お子さまの肩が窮屈になったらインファントインサートを取り外して使用することができます。

参照 P36-37 >インファントインサート



インファントインサートは調節することができません。背面に縫い付けられているウレタンクッションを取り外さないでください。お子さまの身長が60cmを超え、肩が窮屈になった場合はインファントインサートを取り外して使用してください。



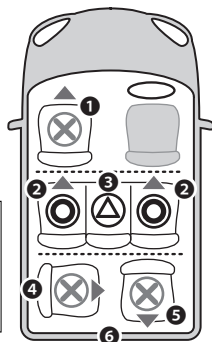
ウレタンクッション

自動車の座席への取り付けに関して

取り付け、使用可能な座席の位置と向き

- ① 助手席 取付使用不可
- ② 後列左右ドア側席 取付使用可能
- ③ 後列中央席 条件付使用可
- ④ 進行方向横向きの座席 . . 取付使用不可
- ⑤ 進行方向後ろ向きの座席 . 取付使用不可
- ⑥ 3列目以降の座席 条件付使用可

③および⑥については、3点式シートベルトが装備されている場合は取り付け、使用できる可能性があります。ただしこれらが装備されていても補助席の場合や座席の幅、長さ、シートバックルの位置などの条件によっては取り付け、使用ができない場合があります。



⚠危険 上記の座席（シート）すべてに取り付けおよび使用可能とは限りません。上記は、座席の位置と向きについて使用の可否を記載したものです。この位置と向きにあって、かつその他の条件を満たした座席にのみ取り付けが可能です。

ISOFIX ベース

ISOFIX ベースを自動車の座席に取り付けた上で、本製品を固定して使用する場合は「i-Size」規格に対応いたします。

この場合、自動車の取扱説明書において、「i-Size 対応」と指定されている座席に取り付けて使用することができますが、座席の仕様、条件によっては本製品の使用できる機能に制限が生じる場合があります。

また「i-Size 対応」と指定されていない自動車、座席でも取り付けが可能な場合がありますので、車種適合一覧にて適合の可否をご確認ください。

本製品を取り付けできない座席

本製品は、全ての自動車、全ての座席（シート）で使用できるものではありません。本製品を取り付けて使用できる自動車、座席の情報については、お車の取扱説明書と適合車種一覧を参照してください。

⚠危険 以下に示す座席では絶対に使用しないでください。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

進行方向に対して前向き以外の座席

本製品は、車の進行方向に向かって前向きの座席にのみ取り付け使用することができます。車の進行方向に向かって後ろ向きや横向きの座席では使用できません。また、車の進行方向に向かって前向きでも、補助席などの特別な座席や、バス、電車、船などの座席でも使用できません。



フロントエアバッグを装備している座席

フロントエアバッグが作動すると、エアバッグが展開する際の急激な衝撃力によって、チャイルドシートが押し出され、お子さまが死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

万が一の事態に備え、機能解除ができる座席でも、フロントエアバッグを装備した座席での使用はお控えください。

また、自動車の取扱説明書をあわせて参照して、エアバッグの取り扱いに関してご確認ください。



助手席

本製品は、ISOFIX ベースに取り付けて使用する場合は、「i-Size」規格に対応しており、自動車の取扱説明書において「i-Size 対応」と指定された座席には取り付けることができます。車種によっては、助手席が「i-Size」に対応している場合もありますが、当社では取り付けの方法に関わらず、助手席での使用は推奨しておりません。衝突や急制動の際にダッシュボードにぶつかったりする他、運転に支障をおよぼすおそれもありますので、より安全な後部座席に取り付けてご使用ください。

本製品と干渉する座席

座席の可動部の操作時や座席の移動、ドアの開閉時にシエルやベースに干渉する座席には取り付け、使用しないでください。

座席やドアに干渉する座席

本製品の取り付け使用にあたって、自動車の通常使用において座席の可動部分や、座席の移動、ドアの開閉に干渉する座席には取り付け、使用しないでください。

危険 以下に示す座席では絶対に使用しないでください。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

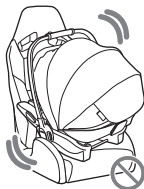
チャイルドシートを使用することによって運転、操作に支障をきたす座席

チャイルドシートを取り付けると、自動車の安全な運転操作に支障をきたす座席には取り付けないでください。

チャイルドシートを安定して設置できない座席

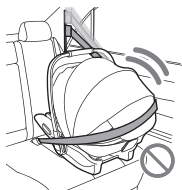
レーシング用のポケットシートなどの極端な凸凹がある座席、幅や奥行きが極端に狭い座席、チャイルドシートを取り付けるとドアやコンソールなど座席以外の構造物にチャイルドシートが接触する座席では、チャイルドシートが安定しないため取り付けることができません。取り付け作業中に、安定性に不安を感じた場合は、その座席には取り付けないようにしてください。

また、適合車種でも限定モデルや中古車の場合には、特殊な座席が付いていたり、座席そのものが交換されているなどの場合もあります。これらの場合、チャイルドシートが安定して設置できないこともありますのでご注意ください。



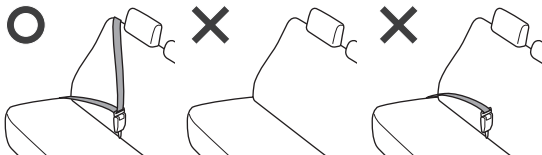
パッシブシートベルトが装備された座席

ドアを閉めると自動的にシートベルトが装着される、パッシブシートベルトが装備された座席では、本製品を使用できません。



3点式シートベルト以外の座席 3点式

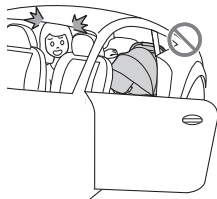
本製品をシートベルトで固定して使用する場合、シートベルトが装備されていない座席はもちろん、2点式シートベルト、5点式シートベルトでは使用できません。必ず3点式シートベルトが装備された座席で使用してください。



⚠危険 以下に示す座席では絶対に使用しないでください。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

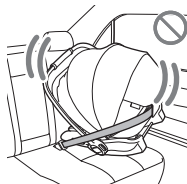
乗員の脱出に影響を与える座席

片開きドアのワンボックスカーのドア側の座席や2ドア車など、チャイルドシートを使用することにより、他の乗員が緊急時に自動車から脱出しにくくなるおそれがある座席では使用しないでください。実際に本製品を使用する前に、あらかじめ緊急時を想定して、取り付けようとする座席の上に本製品を置き、その状態で、すべての座席から他の乗員が容易に乗降できるかどうか、また、緊急時にお子さまを迅速に脱出させることができるかを、あらかじめ確認してください。



その他、しっかりと取り付けられない座席や、取り付け作業中に動く座席

取扱説明書に従っても、しっかりと固定できない、安定しない、本製品の角度などに異常がある、サポートレグが接地しない、取り付け作業中に動く座席など、正常に取り付けができない座席では、使用しないでください。



ISOFIX ベースが正しく取り付けできない座席 **IS0**

本製品を ISOFIX ベースに取り付けて使用する場合、ISOFIX ベースが正しく固定できない座席では使用しないでください。必ず ISOFIX ベースの取扱説明書を参照して ISOFIX ベースを正しく座席に固定してください。

3 点式シートベルトについて **3点式**

本製品の固定に3点式シートベルトを使用する場合は、あらかじめ3点式シートベルトの種類を確認してください。

座席の形状に問題がなく、バックルの位置などの条件を満たしている場合は近年の国産車においてはほとんどの場合問題なく使用することができますが、3点式シートベルトの種類によっては正しく固定できない場合があります。

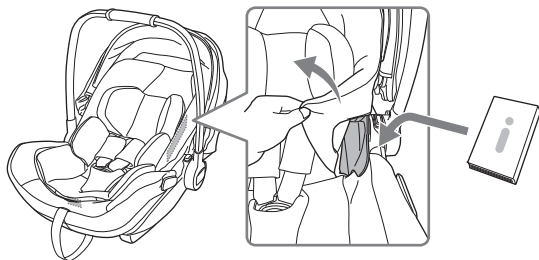
自動車の取扱説明書を確認するか、または自動車のメーカー、お買い求めになった自動車の販売店に問い合わせるなどして、装備されている3点式シートベルトがチャイルドシートの固定に適しているか否かを確認してください。

⚠危険 シートベルトの種類以外の要因で使用できない可能性があります。シートベルトの種類が適合していても、他の条件により本製品を正しく取り付けできない場合がありますので、必ず適合車種一覧をご確認ください。適合車種一覧で取り付け不可とされている車種、座席では、絶対に使用しないでください。

取扱説明書の携行

本取扱説明書は取扱説明書コンパートメントに常時保管して、必要な際にはいつでも参照できるようにしておいてください。

本製品を正面から見て右側面のシートカバーをめくり、開口部から取扱説明書コンパートメント（本体樹脂部の隙間）に取扱説明書を差し入れてシートカバーを戻します。



使用上の注意

本製品の誤った使用は、所定の機能を発揮できないばかりか、お子さまのみならず他の同乗者の方にも思わぬ危険をおよぼすおそれがあります。

ここでは、本製品をご使用いただくにあたって、注意していただきたい重要な事柄や、「してはならない」重要な禁止事項について説明しています。

⚠ 危険 以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

本書および本体の表記に従って正しく自動車の座席に取り付けること

本書や本製品の本体に記載されている指示に従って、正しく自動車の座席に固定し、使用してください。

正しく固定されていないと、衝突や急制動の際に本製品が所定の安全性能を発揮できず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

指定以外の耐荷重保持接点を使用しないこと

本製品の取り付けおよび使用にあたっては、本書および本製品に表記されている耐荷重接点（ベルトガイド、シートベルトの通し位置や経由点、ISOFIX 使用時の接合部など）以外を使用しないでください。本製品の取り付けおよび使用にあたっては、必ず本書や本製品に表記されている指示に従ってください。



危険 以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

自動車の取扱説明書の記載内容を守ること

本製品の取り付け、使用にあたっては、本製品を取り付ける自動車の取扱説明書の該当する箇所を確認して、その指示と注意事項に従ってください。

本製品の取り付け、設置場所に注意すること

取り付け、設置する場所によっては、お子さまが可動式の座席や自動車のドアに挟まれ、思わぬ事故につながるおそれがあります。あらかじめ安全を確認した上で取り付け、使用してください。

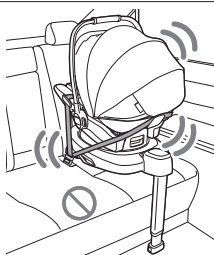
指定する方法以外での取り付け、固定をしないこと

本製品は本書および本体で指示する方法でのみ自動車の座席に固定して使用することができます。ひもや帯状のもの、布、梱包用ベルト、テープなどを固定に使用してはいけません。また、正しく固定した上に、これらのもので補強してもいけません。これらのものが、本製品の固定に影響を与えたり、お子さまの首や身体に引っかかるなどして重大な事故につながるおそれがあります。



ISOFIX ベースと 3 点式シートベルトの固定を同時に行わないこと

ISOFIX ベースでの固定と、3点式シートベルトでの固定を併用してはいけません。安全性が増すことはなく、本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。



3 点式シートベルトにゆるみ、ねじれがないようにすること 3 点式

3点式シートベルトで固定して使用する場合は、本書および自動車取扱説明書の指示に従って3点式シートベルトを正しく使用して本製品を固定し、3点式シートベルトにゆるみやねじれがないようにしてください。



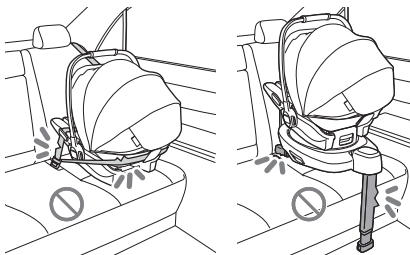


以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

本製品の取り付けに関わる部位や部品に異常が認められる場合は絶対に使用しないこと
交通事故や急制動の際に本製品が外れたり大きく動くなどして、重大な事故につながるおそれがあります。

3点式シートベルトで使用する際には、本製品の腰ベルトガイド、肩ベルトガイド、自動車の3点式シートベルト、シートベルトタング、シートベルトバックルに異常がある場合は、取り付けおよび使用をしないでください。

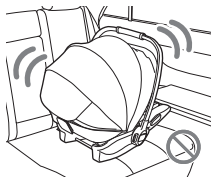
ISOFIX ベースに取り付けて使用する際には、ISOFIX ベースのコネクター等の固定装置類や自動車の座席の ISOFIX 固定装置に異常がある場合は、取り付けおよび使用をしないでください。



指定以外の向きで自動車の座席に取り付けて使用しないこと

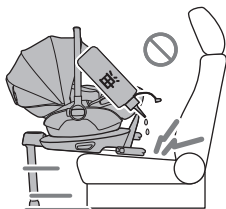
本製品は自動車の座席への取付方法に関わらず、自動車の進行方向に対して前向きの座席に、本製品を後ろ向きにして固定した状態でのみ使用することができます。

本製品を自動車の進行方向に対して横向きや、前向きにして使用することはできません。



いかなる場合でも注油しないこと

本製品が安全に機能しなくなるおそれがあります。いかなる目的があっても、絶対に本製品に注油したり、潤滑剤を使用したりしてはいけません。



使用中に異常を感じた場合や、部品の欠落、破損箇所がある場合は使用しないこと

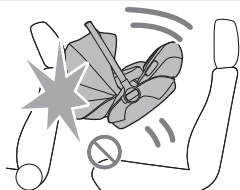
交通事故や急制動の際に本製品が所定の安全性能を発揮できないおそれがあり、また本製品の破損部により思わぬ事故につながるおそれがあります。



以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

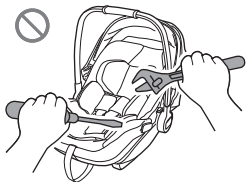
使用しない場合でも、車内では必ず固定しておくこと

お子さまを乗せて使用しない場合でも自動車に本製品を乗せる際には、本書の指示に従い自動車の座席に正しく固定しておいてください。正しく固定されていないと衝突や急制動の際に本製品が移動し、運転操作の邪魔になったり他の同乗者に当たるなどして、重大な事故につながるおそれがあります。



チャイルドシートを分解したり改造したり、指定外の部品を取り付けて使用しないこと

チャイルドシートが所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。本製品の適合する規格、基準に関わる管轄当局の承認なしに本製品に変更を加えたり、部品などを追加することは禁止されています。また、指定外のソフトパッドやインサート類を使用したり、本製品付属のインファントインサートを加工したりしないでください。



本製品は取扱説明書および自動車の取扱説明書の内容を理解した大人の方が操作すること
本製品を誤った状態で使用すると、お子さまばかりか、他の乗員にも危険がおよぶおそれがあります。たとえ使用方法を理解していたとしても、お子さまに操作をさせないでください。また、第三者に本製品を使用させる場合にも、本書を必ず参照させて本製品を正しく使用できるようにしておいてください。

常にハーネスとバックルを正しい状態で使用すること

転落を防ぐため、本製品をチャイルドシートとして使用する場
合に限らず、ベビーキャリアやロッキング・チェア、ベビーカー用の
シートとして使用する場合でも、お子さまを本製品に乗せる場
合は、必ずハーネス、股ベルトを正しい状態で使用し、常にバック
ルを留めておいてください。

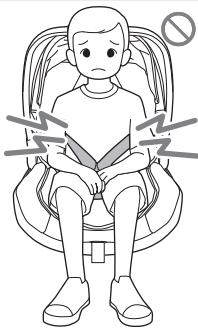


お子さまをハーネス以外の方法で本製品に固定しないこと

お子さまにはハーネスを装着させてください。ベルトや紐などハーネス以外の方法でお子さまを固定しないでください。



以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。



使用可能な範囲を守ること

本製品が認証を受けた基準により、使用できる条件と使用可能なお子さまの範囲が定められています。この使用条件を守らないと本製品が所定の安全性能を発揮できず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

体型が合わなくなった場合は使用しないこと

お子さまが使用可能な範囲の条件に適していたとしても、本製品に正しくお子さまを乗せた際に頭頂部が上にはみ出してしまう場合や、お子さまの足が本体から極端にはみ出してしまうようになった場合、調節してもお子さまの身体を正しく固定できない場合には、本製品が所定の安全性能を発揮できませんので使用を中止してください。

ハーネスを正しく調節してハーネスや股ベルトにねじれ、ゆるみがないようにして装着すること

ハーネスは、高さで長さを正しく調節してねじれがないことを確認して、しっかりと締め付けて使用します。股ベルトもねじれがないようにしてください。



お子さまを正しく座らせて使用すること

本取扱説明書の記載に従い、本製品を正しく調節して、正しくお子さまを座らせて使用してください。ハーネスを間違えて使用したり、お子さまを立たせたり、正座、中腰の体勢で使用したり、複数のお子さまを座らせたりしてはいけません。





以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

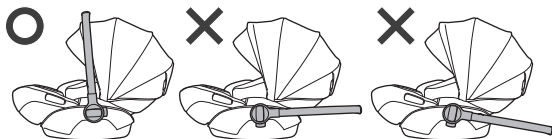
お子さまを乗せたまま高所に置かないこと

本製品が落下して、重大な事故につながるおそれがあります。テーブルの上や椅子の上、階段の近く、自動車の屋根の上、買い物カートなど、転落すると危険な場所にお子さまを乗せたまま本製品を置かないでください。たとえハーネスで正しく固定していたとしても重大な事故につながるおそれがあります。



キャリーハンドルの状態を確認すること

本製品は、使用する目的に応じてキャリーハンドルを3つのポジションで固定することができます。チャイルドシートとして使用する場合、ベビーカー用のシートとして使用する場合、お子さまを乗せた状態で本製品を持ち運ぶ場合は、お子さまの身体を正しくハーネスで固定して、キャリーハンドルをキャリーポジションにしてしっかりと固定してください。



お子さまを自動車内に放置しないこと

本製品の使用の有無に関わらず、いかなる場合でも、どれだけ短い時間でも、お子さまを自動車の中に放置してはいけません。日差しにより自動車内の温度が高くなり、熱中症・脱水症状になるおそれがあります。また、誤って自動車の操作をしたり、ハーネス、シートベルトに絡まるなどして重大な事故につながるおそれがあります。



お子さまから目を離さないこと

本製品は、常に保護者の目が届く状態で使用してください。絶対に、お子さまを本製品に乗せたままその場を離れるなどして放置してはいけません。安全に配慮しつつ、お子さまの状態、様子には常に注意を払ってください。

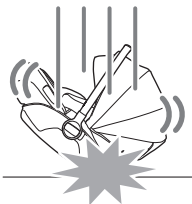
お子さまを自動車に乗せる際には必ずチャイルドシートを使用すること

多くの自動車事故が、短い距離、短い時間の移動時に発生しています。どれほど短い距離、どれほど短時間のドライブであろうとも、必ずチャイルドシートを常に正しく使用するとともに、慎重で安全な運転を心がけるようにしてください。

⚠ 警告 以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

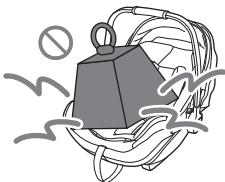
強い衝撃を受けた場合は使用を中止すること

交通事故にあった、高所から落下させた、車のドアで強く挟んだ、などチャイルドシートが強い衝撃を受けた場合は使用を中止してください。特に交通事故の場合は、事故が軽度なものであってもチャイルドシートには強い力がかかっているおそれがありますので、継続して使用しないでください。また、本製品の部品が欠落したり紛失したりした場合も使用してはいけません。目には見えない損傷や部品の欠落の影響によって本製品が安全に機能しなくなっている可能性があります。このような場合は修理ができません保証の対象外となりますので、新しいチャイルドシートをご購入いただく必要があります。



本製品に過度の負荷を掛けないこと

本製品が損傷して所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがありますので、本製品に重いものを載せたり、ドアや自動車の座席のリクライニングで強く挟むなどしないでください。また負荷によって本製品が損傷した場合は使用を中止してください。



中古品や劣化したチャイルドシートを使用しないこと

中古品や過去の使用履歴や保管状況、使用状況が不明なチャイルドシートは使用しないでください。

見た目では判断できない構造的損傷のある可能性もあります。また、再利用による事故を防ぐため、不要となったチャイルドシートは、「廃棄品」と明示し、シートカバーを破るなどして再利用ができない状態にして廃棄するようお願いいたします。



カバー類を取り外して使用しないこと

カバー類を取り外して使用すると、本製品が所定の安全性能を発揮できません。本取扱説明書で別段の指示がない限り、本製品の部品を取り外した状態で使用しないでください。カバー類、ウレタンも安全に関わる重要な部品です。決して取り外して使用しないでください。また同様に、本製品に縫い付け、または貼られているラベルやシールも本製品の適合する安全基準で規定されている重要な部品ですので、決してはがさないでください。

EPP / EPS フォーム（衝撃緩衝材）を取り外さないこと

本製品の内部に取付けられている EPP / EPS フォームは、本製品の安全性に関わる重要な部品です。絶対に取り外さないでください。

指定外のアクセサリを追加して使用しないこと

本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。チャイルドシート用、ジュニアシート用とされていても、当社指定外の市販のマットやソフトクッションなどを本製品に追加して使用しないでください。

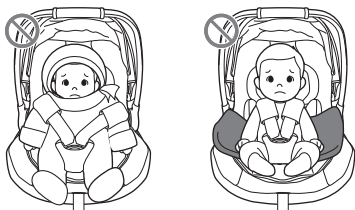
警告 以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

不適切な着衣で使用しないこと

お子さまがサイズの大きすぎる服や、厚みのありすぎる服などを着用していると、本製品のハーネスで正しく固定できず、お子さまがチャイルドシートから落下したり、飛び出したりするおそれがあります。また、ケープ、毛布など衣服ではないものや、おくるみなど、両足が出ない(股ベルトを両足で挟めない)構造の着衣でチャイルドシートを使用しないでください。厚みのあるダウンジャケットなど厚着をしている場合には、お子さまの身体が確実にチャイルドシートに固定されるよう、ハーネスなどを調節してください。

正しく調節できない場合は、お子さまの身体が正しくチャイルドシートに固定できるよう、着衣を調節してください。

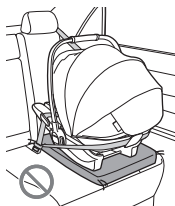
また、衝突や急制動の際に、お子さまが滑りやすくなりますので、毛布や座布団などの敷物をお子さまの下に敷かないでください。



チャイルドシートの下にクッションや敷物などを敷かないこと

チャイルドシートと座席の間に、座布団やクッションなどの敷物を敷くと、チャイルドシートが所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。

お子さまの安全のため、チャイルドシートを正しく取り付けられた際には自動車の座席にくぼみやキズが生じる可能性があります。あらかじめご了承ください。



走行前には、毎回チャイルドシートの取り付け状態を確認すること

走行中の振動や他の同乗者やお子さまが触れるなどして、チャイルドシートの固定、取り付けの状況が変化しているおそれがあります。走行前には、毎回チャイルドシートが正しい状態になっていることを確認してください。



警告 以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

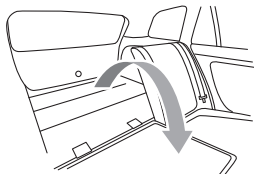
走行中はチャイルドシートを操作しないこと

自動車の走行中はチャイルドシートを操作しないでください。走行中に異常を発見したり、取り付け状態や、お子さまの固定状態に不安が生じたりした際には、速やかに自動車を安全な場所に停めてから確認や操作を行ってください。



可倒式座席に取り付けて使用する場合は、確実に背もたれを固定すること

自動車の可倒式座席（トランクスペースを広く使えるよう、座席の背もたれを前に倒すことができる座席/トランクスルー）にチャイルドシートを取り付ける場合、背もたれを確実に立てて固定してください。背もたれが確実に固定されていないと、突然背もたれが倒れて思わぬ事故につながるおそれがあります。



チャイルドシートを取り付けた後に座席のリクライニング操作や座席の移動をした場合は状態を確認すること

チャイルドシートを自動車の座席に取り付けた後に、取り付けた自動車の座席のリクライニング操作や座席の位置を前後に移動させる操作をすると、固定の状態が変化する可能性があります。これらの操作をした後には、取り付け状態を確認してください。特に3点式シートベルトで固定している場合は、取り付けがゆるむおそれがありますので、必ずご確認ください。

指定外のインファントインサート、ソフトパッド類を使用しないこと

本製品には、身長 60cm までのお子さまに使用するインファントインサートが付属しています。このインファントインサートは安全基準を満たした部品ですので、指定外のソフトパッドやインサート類を使用したり、本製品付属のインファントインサートを加工したりしないでください。

目的外の使用をしないこと

本製品は、本書で示す目的と使用方法でのみ使用することができます。プースターチェアや就寝用のベッドとして使用するなど、本来の目的以外で使用すると、本製品の落下や転倒、窒息、また、お子さまが本製品から落下したりするなどして、重大な事故につながるおそれがあります。



⚠ 警告 以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

ベビーベッドとして使用しないこと

本製品はベビーベッドではありません。保護者の方の監視のもとで使用する製品（チャイルドシート、ベビーキャリア、ロッキングチェア、インファントチェア、ベビーカー用のシート）です。長時間の睡眠に使用すると赤ちゃんの健康を害するおそれがあります。本製品をベビーベッドの代用としては使用しないでください。

ベビーカーに確実に取り付け使用すること

本製品は、当社の指定する NUNA 製のベビーカーに取り付けて使用することができます。本製品が脱落して重大な事故につながるおそれがありますので、本製品をベビーカーに取り付けて使用する場合には、ベビーカーの取扱説明書の指示に従い、正しく確実に取り付け使用してください。

また、本製品は当社が指定するベビーカー以外には取り付けることができません。無理に取り付けようとすると、本製品が破損、落下するおそれがあります。

本製品を持ってベビーカーを持ち上げないこと

本製品を NUNA 製のベビーカーに取り付けて使用する場合、本製品の部位を持ってベビーカー全体を持ち上げないでください。本製品や本製品のアダプター、ベビーカーが破損して思わぬ事故につながるおそれがあります。

ハーネスやキャノピーをつかんで本製品を持ち上げないこと

本製品を持ち上げる際に、ハーネス、インファントインサート、生地部分、キャノピーを持って持ち上げないでください。本製品が破損、落下するおそれがあります。

本製品を持つ場合はキャリアハンドルをキャリアポジションで確実に固定して、本体に片手を添えてキャリアハンドルを持つようにしてください。



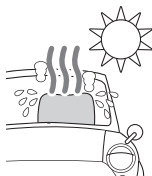
お子さまを乗せて本製品を持ち上げる際は注意すること

お子さまに正しくハーネスを装着し、地面に対して水平になるように注意しながら、キャリアハンドルを片手でしっかりと握るか、またはキャリアハンドルに腕を通して肘に掛けて持つようにして、本製品を地面に対して水平を保つようにしてください。

⚠️ 注意 以下に記載する内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえる可能性があります。

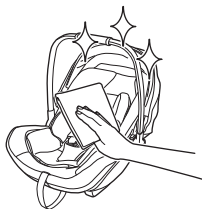
部品の過度の加熱に注意すること

ヤケドを負うおそれがありますので、チャイルドシートが日光により過度に加熱していないか確認してから、お子さまを乗せてください。また、本製品を操作する方も、温度を確認してから操作するようにしてください。野外に駐車する際には、直射日光を避けて日陰に駐車したり、チャイルドシートに覆いをしたりするなどして過度の加熱を防ぐようにしてください。



車内にある動くものは固定しておくこと

急制動などの際に、チャイルドシートを使用しているお子さまのみならず他の同乗者にあたるなどしてケガを負うおそれがありますので、自動車内に置いてある、容易に動く物は適切に固定しておくようにしてください。

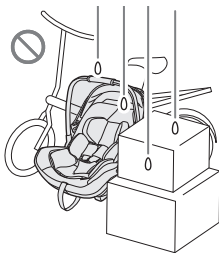


適切な方法でお手入れすること

チャイルドシートが安全に機能しなくなるおそれがありますので、お手入れやメンテナンスの際に、稼働部、接合部に潤滑油を使用してはいけません。本製品のお手入れは、本取扱説明書の指示に従って行うようにしてください。

不適切な保管をしないこと

部品の劣化が早まったり、変質するなどして正常に機能しなくなるおそれがあります。風雨にさらされる露天、直射日光のあたる場所、極端に暑くなる場所、湿気の多い場所、ホコリの多い場所などでは保管しないでください。また、このような場所で長期間保管したチャイルドシートを使用してはいけません。



バックル、ハーネスを自動車のドアや座席に挟まないよう注意すること

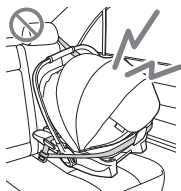
本製品のバックルやハーネスを自動車のドアで挟んだり、座席に挟んだりしないように注意してください。お子さまを乗せていない場合でも、ほこりやゴミが入らないように常にバックルを留めておくようにしてください。



以下に記載する内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえる可能性があります。

自動車のドアや可動式シートの操作に干渉しないように注意すること

本製品や自動車が破損したり、キズが付くおそれがありますので、本製品は自動車のドアや可動式シートの操作に干渉しない座席に取り付けてください。特に3点式シートベルトで固定している場合、使用や振動によりチャイルドシートの位置が移動することがありますので特にご注意ください。なお、チャイルドシートの位置が移動している場合は固定がゆるんでいるおそれがありますので、取り付け状態を確認し、必要に応じて取り付け直すようにしてください。



手足（指）を挟まないようにすること

重大な事故につながるおそれがありますので、本製品を操作する際には、お子さまの手足や指に注意して本製品と自動車の座席、ベビーカーとの間に手や足、指を挟まないよう注意してください。また、本製品を操作する保護者の方も、手足や指を挟まないよう注意してください。

トランクでの保管に注意すること

本製品の破損につながるおそれがあります。自動車のトランクに入れて保管する場合は本製品の上に他の物を重ねないようにしてください。また、トランク内は高温になりますので、長期間にわたるトランク内での本製品の保管は避けてください。

長期間使用しない場合は自動車の座席から取り外すこと

本製品を長期間使用しない場合、自動車の座席に取り付けたままにせず、取り外して車外の安全な場所で適切に保管してください。

ご購入前、ご使用前に、お使いの自動車の座席に正しく本製品を取り付けられるかを確認すること

正しく取り付けできないと、衝突や急制動の際に本製品が所定の安全性能を発揮することができません。

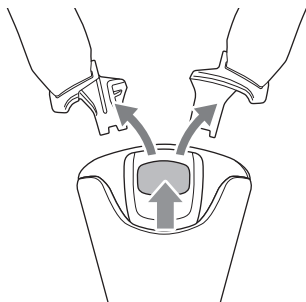
長時間連続して使用しないこと

お子さま、特に新生児期のお子さまを長時間にわたり同じ姿勢で固定すると、お子さまにストレス、疲労をあたえる可能性があります。より快適に使用していただくため、適宜、お子さまを本製品から降ろして、自由に動けるようにしてあげてください。

また、安全運転のためにもなりますので、チャイルドシートとして使用する場合には、最低でも1時間に1度は休憩をとるようにしてください。

疑問点、ご不明な点は、販売店またはお客様サービスにお問い合わせください
お手入れ、メンテナンスについて疑問がある場合や、部品の交換、補修については、本製品をお買い求めになった販売店または巻末に記載のお客様サービスにお問い合わせください。

緊急時の操作



交通事故などの緊急時には、慌てずにバックルボタンを押してハーネスを外し、速やかにお子さまを自動車外に脱出させてください。

そして直ちにお子さまの応急処置を行い、医師の診断を受けるようにしてください。

お子さまの脱出の際に、ハーネスや自動車のシートベルトにお子さまが絡まないように注意してください。バックルボタンが機能しない場合は、以下の方法でお子さまを脱出させてください。

バックルボタンが機能しない場合

3点式シートベルトで固定している場合

- シートベルトのバックルを外して、本製品ごとお子さまを脱出させる
- シートベルトカッターで3点式シートベルトを切断して、本製品ごとお子さまを脱出させる
- シートベルトカッターで本製品のハーネスを切断して、お子さまを脱出させる

ISOFIX ベースに固定している場合

- ISOFIX ベースから本製品を取り外してお子さまを脱出させる
- 座席の ISOFIX 固定装置からベースシートごと本製品を取り外して本製品ごとお子さまを脱出させる
- シートベルトカッターで本製品のハーネスを切断して、お子さまを脱出させる

基本的な使いかた

ここでは本製品の基本的な使いかたについて説明しています。実際に使用する際には、お子さまの体重や体格、月齢に合わせて本製品を調節してください。

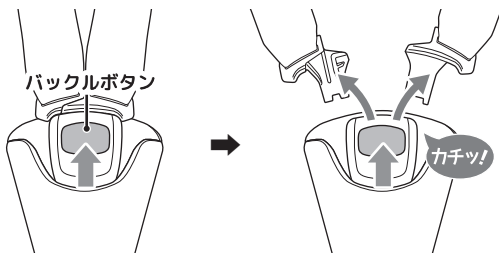
⚠危険 不適切な使用は思わぬ事故につながります。本書に記載されているすべての事柄を理解して、本製品を正しく取り付け、お子さまの身長、体重、体格、月齢に応じて本書の指示に従って本製品を適切に調節してください。

バックルの使いかた

バックルの外しかた

01

バックルを外すには、受けバックル中央の赤いバックルボタンを押します。「カチッ」と音がして、差込みタングが外れます。

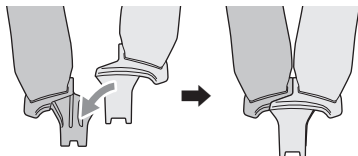


⚠注意 バックルは安全のため操作が固めになっています。お子さまの腹部を圧迫しないように、受けバックルを手で握ってバックルボタンを操作してください。

バックルの留めかた

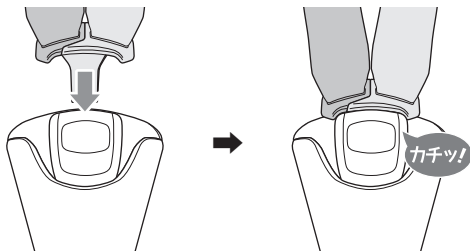
01

ハーネスをねじらないように注意して、左の差込みタングの上に、右の差込みタングを重ねます。



02

そのまま「カチッ」と音がするまで差込みタンクを受けバックルに差し込みます。



03

軽くハーネスを引いて、バックルがしっかりと留まっていることを確認してください。

ポイント

バックルの破損、汚損、ケガを防ぐため、お子さまが使用していないときや保管するときもバックルは常に留めておくようにします。

危険

バックルは確実に留めて使用してください。バックルが正しく留まっていないと、本製品の使用中に突然バックルが外れてお子さまが本製品から飛び出したり、落下したりするなどして重大な事故につながるおそれがあります。バックルに異常がある場合はただちに本製品の使用を中止して、巻末の保証書に記載のお客様サービスまでご連絡ください。

注意

バックルを清潔に保ってください。バックルの中に食べかすやゴミが入らないよう注意してください。お子さまを乗せて使用しない場合でも常にバックルは留めておくようにしてください。

ハーネスの長さ調節

お子さまの体格や月齢、着衣の状態に応じてお子さまの身体をしっかりと固定できるようにハーネスの長さを調節します。

危険

ハーネスの長さは、必ず適切に調節してください。ハーネスが締められすぎたり、ゆるんでいたりすると、事故や衝撃の際に、お子さまが本製品から飛び出したり、ハーネスが首に絡まるなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。

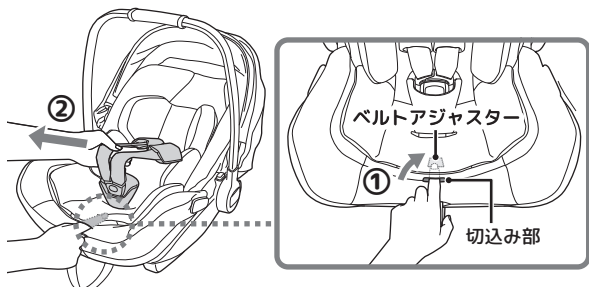
注意

ハーネスは必ず左右同じ長さに調節してください。左右でハーネスの長さが異なると、ハーネスが所定の安全性能を発揮できないおそれがあります。

ゆるめかた

01

アジャスターベルトの上側にある①切込み部に指を差し入れてベルトアジャスターを押し込みながら、②左右のハーネスを束ねて持って、ゆっくりと手前に引き出します。



💡ポイント

ベルトアジャスターは切込み部の中にあります。切込み部に指を差し入れて押し込んでください。

締めかた

01

アジャスターベルトを手前に引くとハーネスが締まります。アジャスターベルトはゆっくり引いてください。



⚠️注意

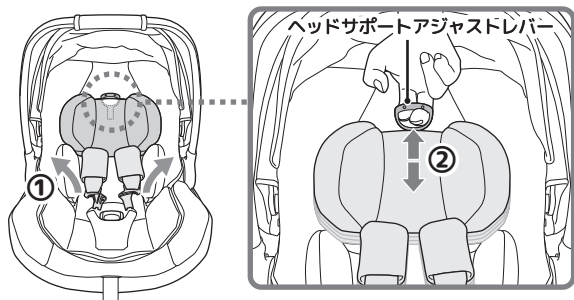
お子さまを乗せた状態でハーネスを締める場合は、アジャスターベルトはゆっくりと引いてください。勢いよく強くアジャスターベルトを引くとお子さまに過剰な負担がかかるおそれがあります。

ハーネス・ヘッドサポートの高さ調節

ハーネス・ヘッドサポートはお子さまの成長や体格に応じて高さを調節することができます。ハーネスとヘッドサポートは連動していますので、ヘッドサポートの高さを調節すると自動的にハーネスの高さ（肩の位置）も調節されます。

01

①あらかじめバックルを外しておきます。②ヘッドサポート裏側のヘッドサポートアジャストレバーに指をかけて上下に動かしてヘッドサポート（ハーネス）の高さを調節します。お子さまの肩の高さに応じて、適切な高さなるよう調節してください。

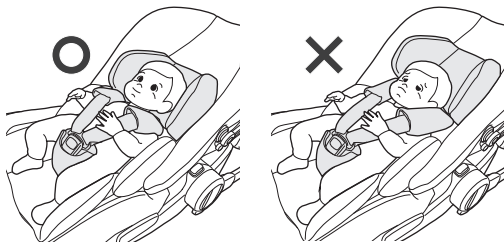


♀ポイント

バックルを留めた状態だと、ヘッドサポートが高くする方向に調節できない可能性があります。

02

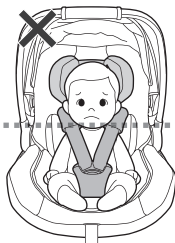
ハーネスは、必ずお子さまの肩と同じ高さかそれよりも少しだけ下の高さに調節してください。ハーネスがお子さまの肩よりも高い位置に調節されているとお子さまがチャイルドシートから飛び出すおそれがあります。



ヘッドサポート（ハーネス）は必ず適切な高さに調節してください。高さが適切でないと、事故や衝撃を受けた際に本製品が正しく機能せず、お子さまに危険がおよぶおそれがあります。



お子さまの肩と同じ高さから少し下の高さ



高すぎる
絶対ダメ



低すぎる
絶対ダメ

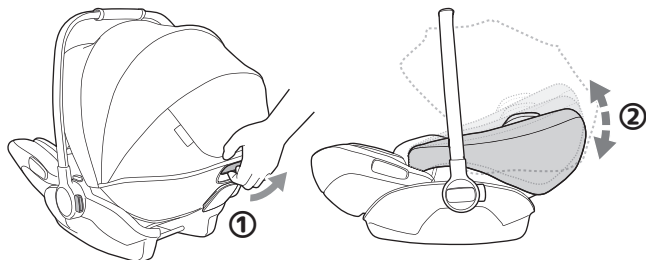
バックレストの調節

バックレストはお子さまの成長や体格に応じて3段階で角度を調節することができます。

警告 特に月齢の低いお子さまの場合は、バックレストの角度に注意してください。バックレストが立ちすぎていると、お子さまの頭部が前方に倒れて窒息につながるおそれがあります。お子さまの様子に注意しながら角度を調節するようにしてください。

01

後部背面にある①バックレストアジャストレバーを引き上げて、②バックレストの角度を調節します。バックレストは3段階いずれかのポジションで固定されますので、目的の角度に調節してください。



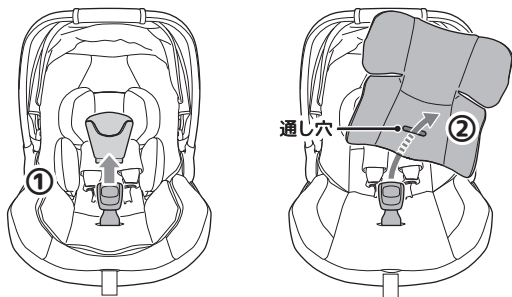
インファントインサート

側面衝突時の保護安全性が高まりますので、お子さまの身長が60cmを超えるまでは、インファントインサートを使用してください。お子さまの肩が窮屈になったらインファントインサートを取り外して使用することができます。

取り外しかた

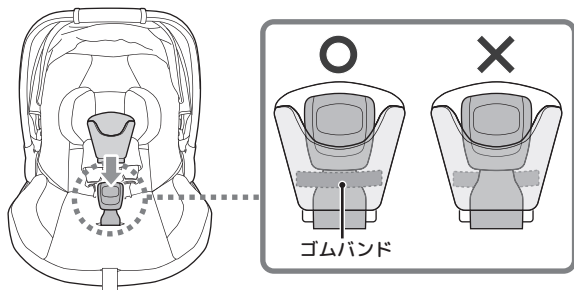
01

バックルを外して①受けバックルから股ベルトパッドを引き抜きます。股ベルトパッドはズレ防止のため、内部のゴムバンドで股ベルトに固定されていますので、注意して引き抜いてください。②受けバックルを通し穴から抜いて、インファントインサートを取り外します。インファントインサートを使用しない場合は、お子さまの手の届かない場所で大切に保管してください。



02

股ベルトパッドを受けバックルに取り付けなおします。股ベルト（受けバックル）が股ベルトパッド内側のゴムバンドの中を通るようにして取り付けてください。

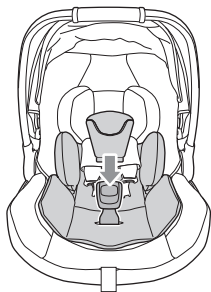


⚠危険 インファントインサートの使用、未使用に関わらず、股ベルトパッドの装着は必須です。必ず取り付けなおしてください。

取り付けかた

01

取り外しかたの逆の手順で取り付けてください。インファントインサートを取り付けてから股ベルトパッドを必ず取り付け直してください。



キャノピー

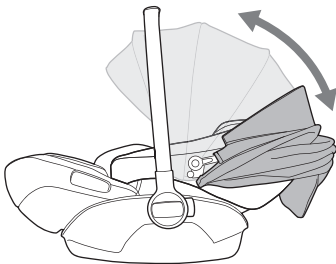
本製品にはお子さまに直接日光があたることを防ぐキャノピーが付属しています。キャノピーは必要に応じて、また、お手入れのために取り外すことができます。

⚠注意 ケガをするおそれがありますので、キャノピーの着脱はお子さまが乗っていない状態で行ってください。

使いかた

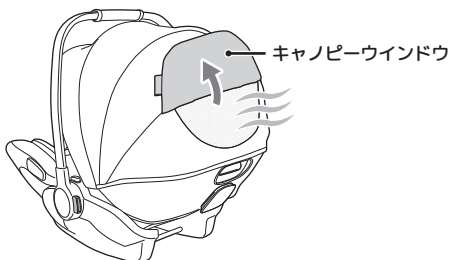
01

キャノピーは開閉することができます。日差しの加減やお子さまの状態に応じて調節してください。



02

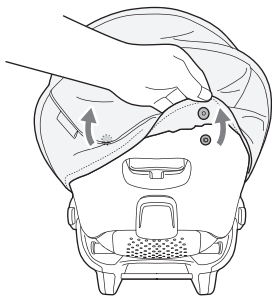
キャノピーを開いた状態で、キャノピー後部のキャノピーウインドウを開くとメッシュ生地になり、通気性が高まります。



キャノピーの取り外しかた

01

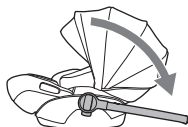
キャノピーの後部をシートカバーに固定してあるホックボタン（2カ所）を外します。左右とも外してください。



💡ポイント

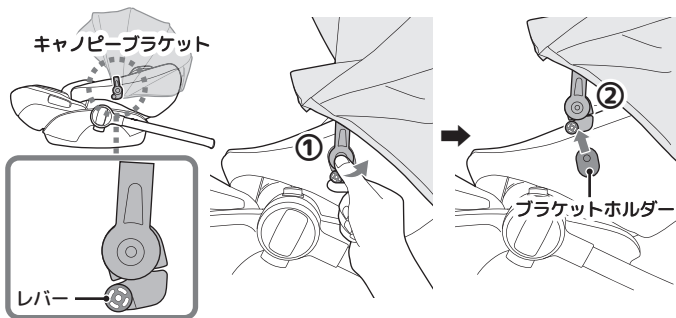
キャリーハンドルを操作してチェアポジションにして
おくと、より操作がしやすくなります。

参照 P40-41 > キャリーハンドル



02

キャンピーの根元部分を本体の左右に留めてあるキャンピーブラケットを外します。①キャンピーブラケットのレバーを引き上げて、②キャンピーブラケットを取り外します。左右とも同じようにしてキャンピーブラケットを取り外してから、キャンピーを取り外します。



破損するおそれがありますので、片側のキャンピーブラケットを外した状態で
⚠️注意 キャンピーを外そうとしないでください。キャンピーは左右のキャンピーブラケットを両方とも外してから取り外してください。

03

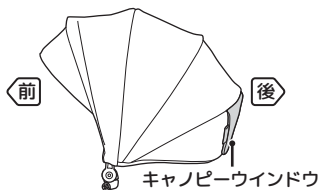
取り外したキャンピーは、お子さまの手の届かない場所で大切に保管しておいてください。

キャンピーの取り付けかた

キャンピーの取り付けは、取り外しの逆の手順で行います。

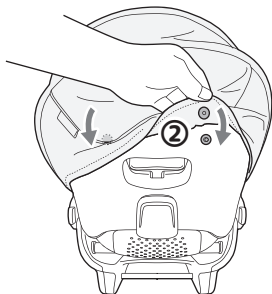
01

キャンピーの前後を確認します。キャンピーウインドウ、ホックボタンがある側が後ろ側になります。



02

①左右のブラケットホルダーに、それぞれキャノピーブラケットをカチッと音がするまで差し込んで固定します。軽くキャノピーを引き上げて外れないことを確認してください。②キャノピー後部のホックボタン（2カ所）をそれぞれシートカバーに留めて固定します。



キャリアハンドル

キャリアハンドルは3つのポジションで使うことができます。

①キャリアポジション

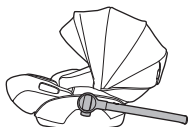
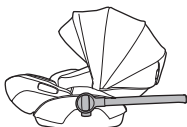
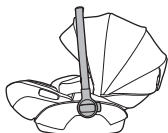
チャイルドシート、ベビーキャリア、ベビーカー用のシートとして使用する場合には、このポジションに設定してください。

②ロッキングポジション

ロッキングチェアのように、前後に揺らすことができます。おさまの様子を見て、使用してください。

③チェアポジション

底面が安定して、ロッキングしなくなります。



①キャリアポジション

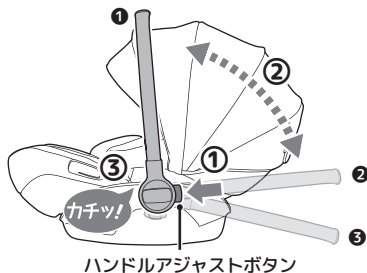
②ロッキングポジション

③チェアポジション

チャイルドシート、ベビーカー用のシート、ベビーキャリアとして使用する場合、
警告 必ずキャリアポジションにして、しっかりと固定してください。ロッキングポジション、チェアポジションでは使用しないでください。

01

キャリアハンドルの左右の根元にある、①ハンドルアジャストボタンを両方同時に押しながら、②キャリアハンドルを動かす、任意のポジション（①②③のポジションのいずれか）まで動かすと③カチッと音がしてキャリアハンドルが固定されます。キャリアハンドルを軽く前後に動かして目的のポジションで固定されていることを確認してください。目的ではないポジションで固定されてしまった場合はもう一度ハンドルアジャストボタンを押して操作をやり直してください。



お子さまの乗せかた

お子さまを乗せる際には、お子さまの成長や体格に応じて本製品を適切に調節する必要があります。チャイルドシート、ベビーキャリア、ベビーカー用のシート、ロッキングチェア、インファントチェアのいずれかで使用する場合も同様に適切に調節してください。

本製品が適切に調節されていないと安全に機能せず、お子さまに危険がおよぶおそれがあります。使用ごとに適切な状態になっているかどうかを確認してください。

01

あらかじめハーネスを最後までゆるめて、バックルを外しておきます。

参照 P33 >ハーネスの長さ調節>ゆるめかた>01

02

お子さまを楽な姿勢にして本製品に座らせませす。背筋を伸ばして股ベルト（受けバックル）を両足の間に入れます。

ハーネスは、お子さまの前側に出しておきます。



警告 肩ベルトパッド、股ベルトパッドを取り外した状態では絶対に使用しないでください。お子さまが適切に保護されず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

03

ハーネスが十分にゆるんでいることを確認します。

ハーネス、股ベルトにねじれがないことを確認して、ハーネスをお子さまの肩の部分に通し、肩ベルトパッドがお子さまの肩の部分にあたるようにしてバックルをカチッと音がするようにしっかりと留めます。



ハーネスをねじらないように注意してください。ハーネスにねじれがあると本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。バックルを留める際にはハーネス、股ベルトにねじれがないことを確認してください。

ハーネス（肩ベルトパッド）がお子さまの肩の部分を通っていないと、お子さまが落下したり衝突や急制動の際にお子さまが飛び出したりするおそれがあります。

本製品の取り付けに3点式シートベルトを用いる場合、ハーネスがシート腰ベルトの上を通った状態でバックルを留めないでください。

危険



シート腰ベルト

04

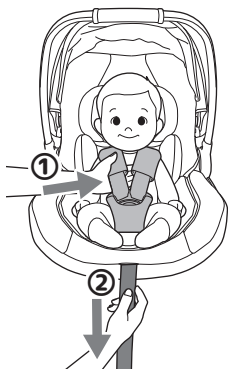
ハーネスがお子さまの肩と同じ高さ（または少し下）になっていることを確認します。位置が高すぎたり低すぎたりする場合は、ヘッドサポートアジャストレバーを操作してお子さまの肩と同じ高さ（または少し下）になるように調節してください。

参照 P34-35 >ハーネス・ヘッドサポートの高さ調節

05

バックルが留まり、ハーネスが適切な高さに調節できたら、ハーネスを締め付けます。

ハーネスとお子さまの間に、①片手の掌を差し込んで、②別の手でアジャスターベルトをゆっくりと引いて締め付けます。差し込んだ掌がハーネスとお子さまの身体の間に残るまで締め付けてください。



⚠危険

ハーネスが強く締めすぎるとおそれがありますので、アジャスターベルトを勢いよく引っ張らないでください。強くハーネスが締まるほどお子さまの保護は強くなりますが、強く締めすぎるとお子さまが苦しくなってしまいます。逆に、締め付けがゆるすぎると使用中にお子さまが本製品から落下したり、衝撃を受けた際にお子さまが飛び出したりするおそれがあります。必ず適切な強さで締め付けるようにしてください。

💡ポイント

締め付けすぎた場合はベルトアジャスターを使ってハーネスをゆるめてからもう一度締めなおしてください。

参照 P33 >ハーネスの長さ調節>ゆるめかた > 01

06

お子さまを降ろすには、バックルを外してゆっくりと降ろしてください。

自動車の座席への取り付けかた

本製品は、適合する自動車の座席に3点式シートベルトを用いて取り付けチャイルドシートとして使用することができます。

または、本製品が対応する ISOFIX ベースに本製品を固定して、ISOFIX 対応のチャイルドシートとして使用することもできます。

ISOFIX ベースを使用すると、チャイルドシートの着脱がより簡単になります。

⚠ 危険 当社が本製品に対応可能であると明示する ISOFIX ベース以外には取り付け使用できません。
現時点、本製品は「nuna BASE next」に対応しています。

3点式シートベルトによる取り付け

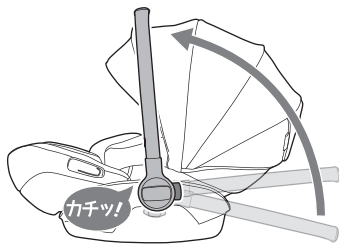
自動車の3点式シートベルトを用いて本製品を座席に固定します。自動車の取扱説明書において「ユニバーサル・シートポジション」と指定されている座席に取り付けて使用することができます。ただし「ユニバーサル・シートポジション」でも、諸条件により取り付けを推奨しない場合もありますので、適合車種一覧をご確認ください。

⚠ 危険 2点式シートベルト（ラップベルト）または3点式シートベルトの肩ベルトと腰ベルトを束ねて2点式にした状態で取り付けないでください。
本書の指示に従って、正しく取り付けてください。

01

キャリーハンドルをキャリーポジションに切り替えておきます。

参照 P40-41 > キャリーハンドル



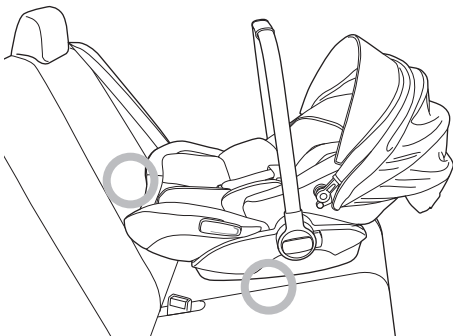
⚠ 危険 キャリーハンドルが干渉して本製品が所定の安全性能を発揮できなくなりますので、本製品をチャイルドシートとして使用する場合は必ずキャリーハンドルをキャリーポジションに調節してください。

⚠注意 本製品にお子さまを乗せた状態で着脱する場合は、お子さまに過剰な負担をかけたり、落下させたりしないよう慎重に作業してください。

02

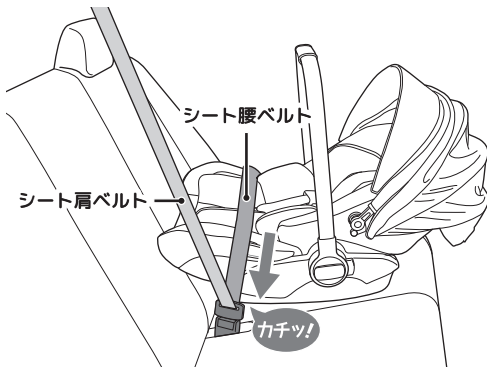
シートベルトバックルや、シートベルトの上に乗せないように注意して、取り付ける自動車の座席の左右中央に、本製品を後ろ向きにして置きます。

本製品の底面が座席の座面に、前端が背もたれにそれぞれ接するようにしてください。



03

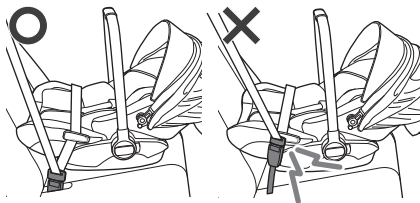
シートベルトを引き出して、ねじらないように注意しながらシート腰ベルトを本製品の上を通してシートベルトバックルを留めます。カチッと音がして、シートベルトバックルがしっかりと留まっていることを確認します。



シートベルトにねじれがあると、本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。シートベルトをねじらないように注意してシートベルトバックルを留めてください。ねじれが生じた場合、バックルが留まったままでは修正できませんので、シートベルトバックルを外してねじれを直してからもう一度留

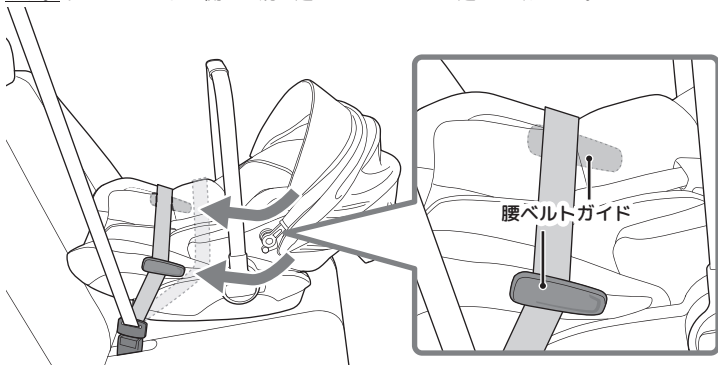
⚠危険 めなおしてください。

シートベルトバックル（シートバックルのベルト部分）が長すぎる座席には取り付けないでください。ベルトが長すぎたり、シートベルトバックルの位置が高すぎたり、前過ぎたりすると、本製品に干渉して、しっかりと取り付けができません。このような座席には取り付けないようにしてください。



04

ねじらないように注意しながらシート腰ベルトを左右の腰ベルトガイド（緑色）に通します。キャリーハンドル側から滑り込ませるようにして通してください。

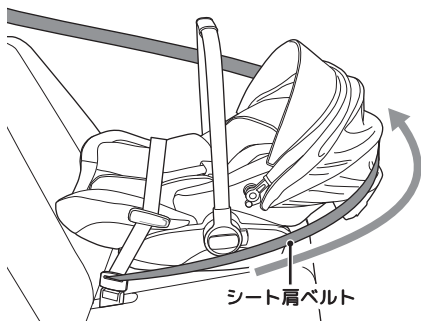


シート腰ベルトは、必ず左右両方の腰ベルトガイドを通るようにしてください。

⚠危険 シート腰ベルトが正しく腰ベルトガイドに通っていないと、衝突や急制動の際に本製品が座席から外れるおそれがあります。

05

ねじらないように注意しながらシート肩ベルトを引き出して、本製品の後ろ側に回します。



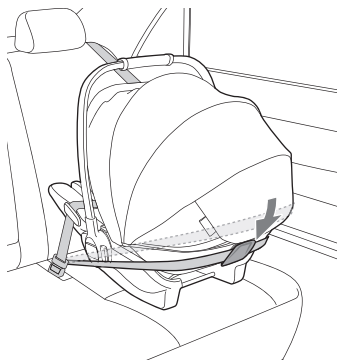
💡ポイント

作業中にシートベルトの固定機能が働いてしまうと、それ以上シートベルトを引き出すことができず、作業ができなくなります。

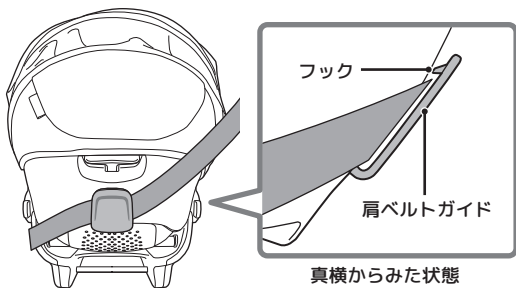
このような場合は、自動車の取扱説明書のシートベルトの使い方の説明を確認して、シートベルトの固定機能を解除してください。

06

シート肩ベルトを後部の肩ベルトガイド（緑色）に差し入れます。



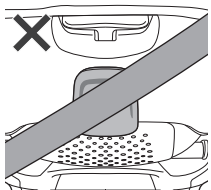
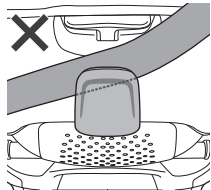
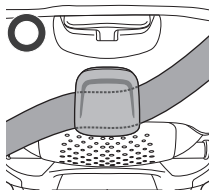
シート肩ベルトが肩ベルトガイドのフックよりも内側（下側）に入るように、しっかりと奥まで差し入れてください。



真横からみた状態

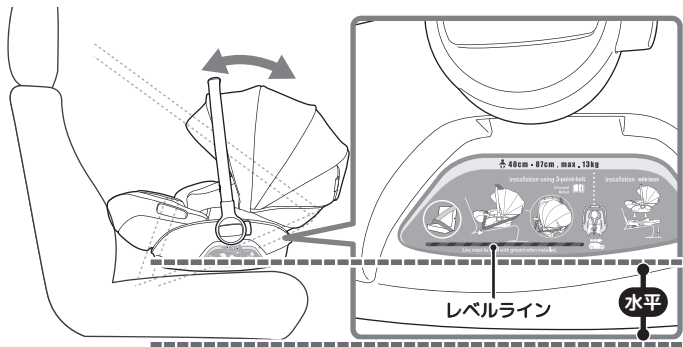


危険 肩ベルトは、図を参照して正しい状態で肩ベルトガイドを通してください。肩ベルトが正しく肩ベルトガイドに通っていないと、衝突や急制動の際に本製品が自動車の座席から外れるおそれがあります。



07

本体側面下部（キャリアハンドル根元の下）に表記されているレベルラインが地面と水平になるように本製品の角度を調節してください。



08

肩ベルトを締め付ける方向に強く引いて、本製品を自動車座席に固定します。強く締め付けるほど本製品はより強く固定されます。

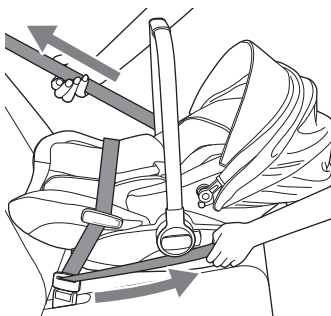


安全のためシートベルトにねじれがないことを確認して、可能な限り強くシートベルトを締め付けて本製品を固定してください。



キャリーハンドルにシートベルトが被らないように注意してください。

お子さまを乗せたままで取り付け、取り外し作業を行う場合は、お子さまの安全を確認しながら慎重に作業してください。

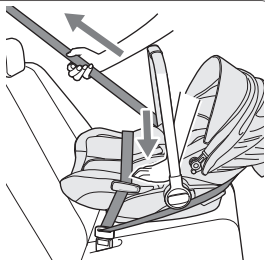


お子さまが乗っていない場合は、キャノピーを閉じて、片手で本製品の座面部分を強く押し付けながらもう一方の手でシート肩ベルトを強く引くと、より強く固定することができます。



正しく固定できませんのでシート腰ベルトは押さえないでください。

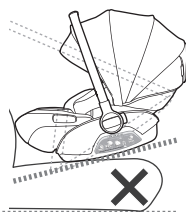
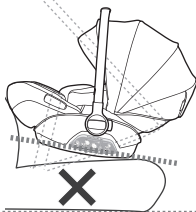
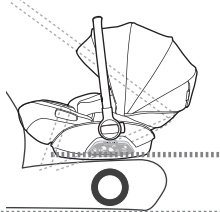
ケガをするおそれがありますので本製品の受けバックルや差込みタングを押さないようにしてください。



09

しっかりと本製品を固定してから、もう一度レベルラインが地面に対して水平になっていることを確認します。

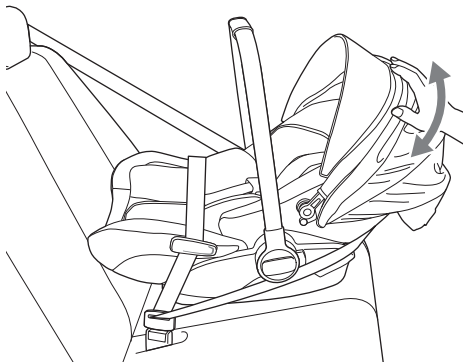
角度がつきすぎている場合には、一旦シートベルトをゆるめてからレベルラインが地面に対して水平になるように強く固定してください。



レベルラインが地面に対して水平になるように固定してください。角度がつきすぎていると、衝突や急制動の際に、お子さまが本製品から飛び出したり、お子さまに過剰な負担が掛かるおそれがあります。また、通常使用時においても、特に月齢の低いお子さまには大きな負担となりますので、レベルラインが地面に対して水平に近くなるように調節してください。

10

本製品を前後左右に軽く動かしてしっかりと固定されていることを確認してください。グラグラした感じがしたり、本製品が 3cm 程度以上動く場合は、取り付けがゆるい状態ですので、レベルラインが地面に対して水平を維持するように注意しながらシートベルトをさらに締め付けてください。



本製品を取り付けた後で座席のリクライニングを調節したり座席を前後に動かしたりすると、取り付けがゆるんだり本製品の角度が変わったりすることがあります。これらの操作を行った場合は、必ず本製品の状態を確認して、ゆるみや角度に異常がある場合は、シートベルトを締め付け直したり、本製品の角度を調節するなどして、適切な状態になるようにしてください。

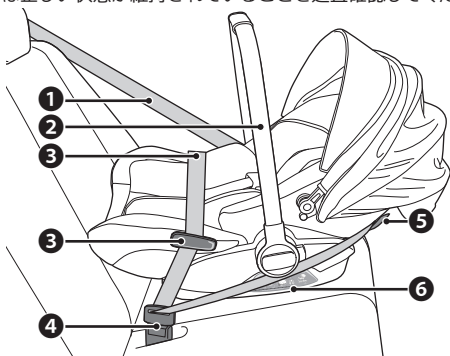
シートベルトをきつく締め付けるほど本製品はしっかりと固定されます。シートベルトにねじれがないことを確認して、可能な限りシートベルトをきつく締め付けるようにしてください。

♀ポイント
また使用中にシートベルトがゆるむことがありますので、適宜シートベルトの締め付け状態を確認してください。

11

以下のチェックリストを確認します。一つでも正しくない部分があれば正しい状態になるよう取り付けなおしてください。

本製品の使用中は正しい状態が維持されていることを適宜確認してください。

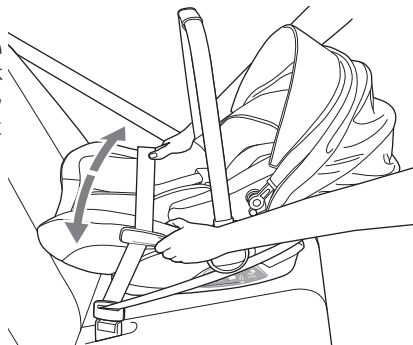


チェックリスト

- ① シートベルトにねじれ、ゆるみがなく本製品をしっかりと固定していること。
- ② キャリーハンドルがキャリーポジションで固定されていること。
- ③ シート腰ベルトが、左右両方の腰ベルトガイドに正しく通っていること。
- ④ シートベルトのバックルが正しくしっかりと留まっていること。
- ⑤ シート肩ベルトが、肩ベルトガイドに正しく通っていること。
- ⑥ レベルラインが地面に対して水平になっていること。

12

取り付け後は、シートベルトが正しい場所を通っていること、ゆるみなく本製品が固定されていること、レベルラインが水平に保たれていることを常に確認して使用してください。



13

取り外しは逆の手順で行います。取り外した本製品はお子さまが乗っていない場合でもそのままにせず、車外に出すようにしてください。

⚠️ 注意 お子さまを本製品から降ろす際に、シートベルトが本製品やお子さまに絡まったり引っ掛かったりしないよう、シートベルトバックルを外したらシートベルトを巻き取って余長を無くすようにしてください。

ISOFIX ベース（別売）による取り付け

本製品は「nuna BASE next」などの ISOFIX ベースに固定してチャイルドシートとして使用することができます。この場合、先に座席の ISOFIX 固定装置に取り付けられた ISOFIX ベースに本製品を固定して使用します。

⚠️ 危険 本製品が安全に機能しないので、対応外の ISOFIX ベースに取り付けて使用してはいけません。当社が「取り付け使用可能」と明示しない限り、他の ISOFIX ベースや 3 点式シートベルトで取り付けるベースを使用してはいけません。

本取扱説明書とあわせて ISOFIX ベースの取扱説明書を確認すること。

ここでは、「nuna BASE next」を ISOFIX ベースとして使用する場合の操作方法を記載しております。「nuna BASE next」の使用方法にも触れていますが、ここでは、基本的な操作部分のみの記載となりますので、必ず、ISOFIX ベースの取扱説明書を確認してください。

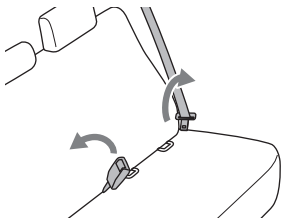
⚠️ 注意 安全のため、ISOFIX ベースの取り付け、取り外しの作業中は、お子さまを近づけないようにしてください。

💡ポイント 「nuna BASE next」の使用に関しては、「nuna BASE next」の取扱説明書において記載されている「nuna pipa next N (Next system 対応モデル)」の取り付け使用に関する説明と基本的に操作内容は同様となります。

nuna BASE next（別売）の取り付けかた

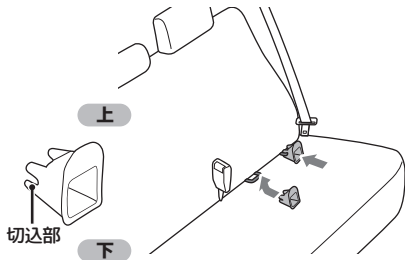
01

座席のシートベルトは留めずに巻き取るなどして邪魔にならないようにしておきます。シートベルトタングやシートベルトバックル、その他のものの上に本製品を乗せないようにしてください。



02

「nuna BASE next」に付属している ISOFIX ガイドを、座席の ISOFIX 固定装置に差し込みます。ISOFIX ガイドにより、ISOFIX コネクターの取り付けがしやすくなります。ISOFIX ガイドには左右はありませんが、上下がありますので上下を間違わないように注意して、切込部を ISOFIX 固定装置に差し込むようにして取り付けてください。



車種によっては、ISOFIX ガイドに類するカバーが取り付けられているなど、ISOFIX ガイドを差し込めない場合があります。その場合は、ISOFIX ガイドを差し込まずに本製品を取り付けることもできますが、ISOFIX 固定装置の周囲の座席の生地に傷がつく場合があります。あらかじめご了承ください。

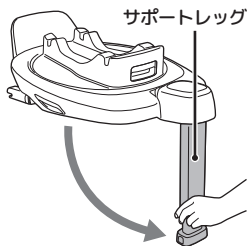
ポイント ISOFIX 固定装置は、座面と背もたれの間の奥にあります。背もたれを押し上げるか、座面を押し下げると、ISOFIX 固定装置が見えますので、その状態で ISOFIX ガイドを差し込んでください。また、車種によっては、ISOFIX 固定装置にカバーが掛けられている場合がありますので、お車の取扱説明書をご確認ください。

03

「nuna BASE next」のサポートレッグを最後まで開きます。

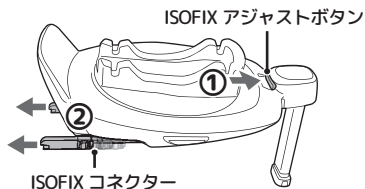
注意 サポートレッグは開いた状態で完全には固定されていません。本体を持ち上げるとサポートレッグが閉じることがありますのでご注意ください。

なお、サポートレッグは閉じた状態でも固定されませんので、持ち上げる際はご注意ください。



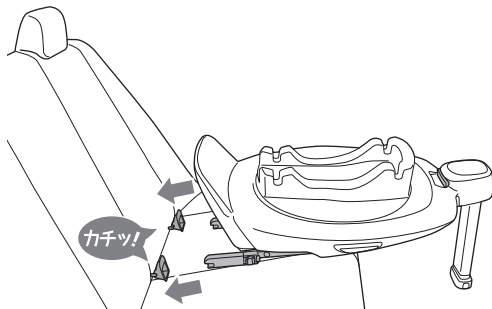
04

「nuna BASE next」の① ISOFIX アジャストボタンを押し込みながら② ISOFIX コネクターを引き出します。最後まで引き出してください。



05

前後を確認して「nuna BASE next」を座面に置き、左右の ISOFIX コネクターをそれぞれ ISOFIX ガイドに差し込みます。
左右それぞれカチッと音がして座席の ISOFIX 固定装置に固定されるまでしっかりと差し込んでください。



⚠️ 注意 ISOFIX ベースの座席への着脱は、本製品を ISOFIX ベースに取り付けた状態では行わないでください。本製品の着脱は ISOFIX ベースを取り付けてから行ってください。

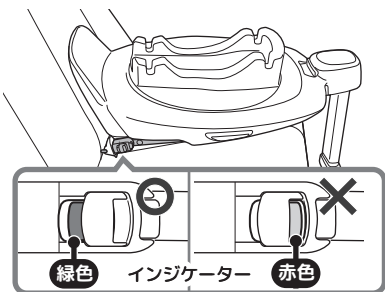
06

「nuna BASE next」の ISOFIX コネクターのインジケータを確認します。必ず、左右両方とも確認してください。

左右いずれか一方でも緑色になっていない（赤色のまま）場合は、もう一度操作をやりなおしてください。

⚠危険

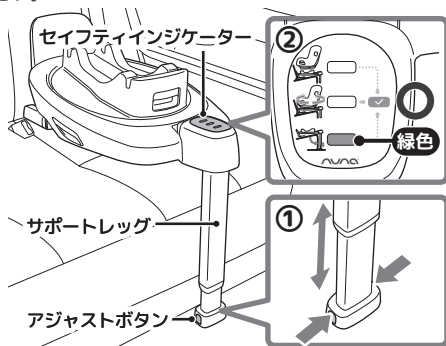
ISOFIX ベースの ISOFIX コネクターは左右とも確実に固定してください。確実に固定されていないと、衝突や急制動の際に自動車の座席から外れて思わぬ事故につながるおそれがあります。左右の ISOFIX インジケータのいずれか一方でも赤色の場合は正しく取り付けられていない状態ですので、両方の ISOFIX インジケータが緑色になるように取り付け直してください。



07

「nuna BASE next」の①アジャストボタンを左右からつまむようにして握り、サポートレッグの長さを調節します。サポートレッグの先端が、まっすぐ床面に接して、かつ土台部先端（サポートレッグ側）が座席の座面から浮き上がらないようにします。

②セーフティインジケータのサポートレッグ部が緑色になっていることを確認します。赤色の場合は、サポートレッグが正しく調節されていませんので、緑色になるまで調節しなおしてください。



サポートレグが完全に床面に接地するとサポートレグ部のインジケータは緑色になります。赤色の場合はサポートレグが完全に接地していませんので、サポートレグを調節してインジケータが緑色になるようにしてください。



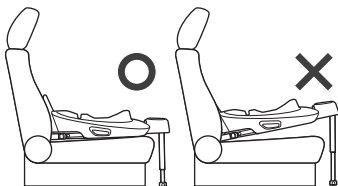
危険

サポートレグの下や周囲に物を置かないでください。サポートレグは安全上大変重要な部品です。サポートレグは自動車の床面の平面部に接地させますので、サポートレグの下に物を置かないでください。また、サポートレグが正しく機能しなくなるおそれがありますので、サポートレグの周囲、特にサポートレグの前に物を置かないようにしてください。



警告

「nuna BASE next」を極端に座席の座面から浮かせないようにしてください。サポートレグを調節する際には、「nuna BASE next」の底面が座面に、サポートレグが床面に、それぞれ接している状態にします。ただし、車種によってはサポートレグを調節しても、底面にわずかな浮きが見られる場合がありますが、ご使用には支障ありません。



08

念のため「nuna BASE next」を手前に引いて、ISOFIX コネクターがしっかりと ISOFIX 固定装置に固定されていることを確認してください。

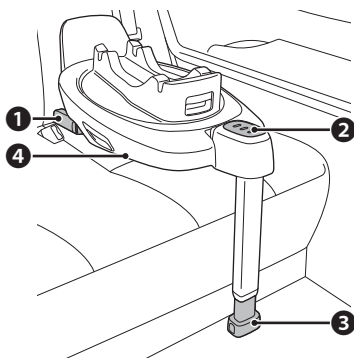


注意

お子さまが手や指を ISOFIX ベースの機構部などで挟んだりしないよう注意してください。また、長期に渡ってチャイルドシートを使用しない場合は、ISOFIX ベースを自動車の座席に取り付けたままにしないでください。

09

以下のチェックリストを確認します。一つでも正しくない部分があれば、正しい状態になるよう操作しなおしてください。



チェックリスト

- ① 左右の ISOFIX コネクターが ISOFIX 固定装置に固定され、ISOFIX コネクターのインジケーターが左右とも緑色になっていること。
- ② サポートレグのインジケーターが緑色になっていること。
- ③ サポートレグが完全に開かれていて、サポートレグの先端が床面に接していること。サポートレグの下、周辺に物が置かれていないこと。
- ④ 底面が座席の座面に接していること（極端に浮いていないこと）。

⚠危険 ISOFIX ベースに本製品を取り付ける場合、3 点式シートベルトは使用しません。本製品が安全に機能しなくなるおそれがありますので、ISOFIX ベースに本製品を固定した上から 3 点式シートベルトなどで追加の固定をしないでください。

10

「nuna BASE next」の取り外しは逆の手順で行います。「nuna BASE next」を自動車の座席から取り外す前に、本製品を「nuna BASE next」から取り外しておいてください。また、**02** で取り付けた「nuna BASE next」付属の ISOFIX ガイドは、両方とも取り外してお子さまの手の届かない場所で大切に保管しておいてください。

ポイント 「nuna BASE next」の ISOFIX コネクターを取り外す際、**左右両方の ISOFIX コネクターを同時に操作して取り外してください。**片側の ISOFIX コネクターだけが座席の ISOFIX 固定装置から外れると、もう片方の ISOFIX コネクターの取り外しができなくなります。このような状態になった場合は、一旦「nuna BASE next」を座席の背もたれ側に押し込んで、両方の ISOFIX コネクターを ISOFIX 固定装置に固定しなおしてから、再度取り外しの操作を行ってください。

nuna BASE next（別売）の準備

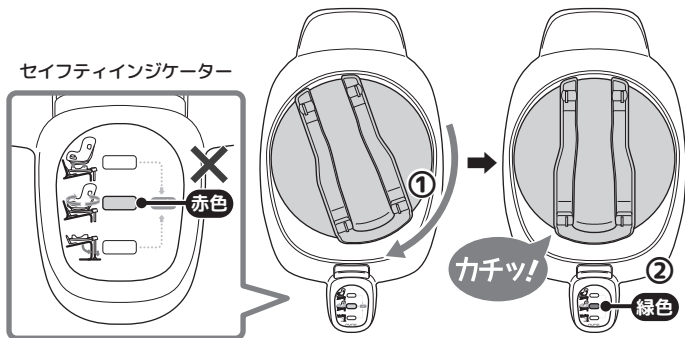
「nuna BASE next」には、お子さまの乗せ降ろしをしやすいするために、本製品を取り付けた状態で台座部分が回転する機構が装備されています。

本製品の取り付け、取り外し時には、「nuna BASE next」の回転機構をロックしておきます。「nuna BASE next」のセーフティインジケーターの回転ロック部が赤色になっている場合は、台座が正しい向きで固定されていないので以下の操作を行い、あらかじめ回転機構をロックしておいてください。

⚠注意 「nuna BASE next」の回転機構は、お子さまの乗せ降ろし時以外は使用しません。突然台座が回転するおそれがありますので、お子さまの乗せ降ろしを行う時以外は、本製品を後ろ向きにして回転機構をロックしておいてください。

01

セイフティンジケーターの回転ロック部が赤色になっている場合は、①カチッと音がするまで、正面を向くように台座を回転させます。②回転ロック部が緑色に変わった事を確認します。念のため、軽く台座を動かして台座の回転機構がロックされていることを確認してください。



02

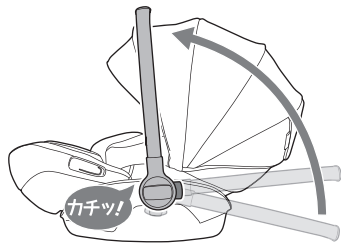
回転機構の使いかたについては、「nuna BASE next」の取扱説明書をご確認ください。

本製品の取り付け

01

キャリーハンドルをキャリアポジションに切り替えておきます。

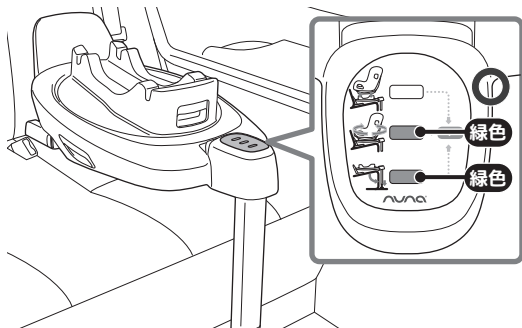
参照 P40-41 > キャリーハンドル



⚠危険
キャリーハンドルが干渉して本製品が所定の安全性能を発揮できなくなりますので、本製品をチャイルドシートとして使用する場合は必ずキャリーハンドルをキャリアポジションに調節してください。

02

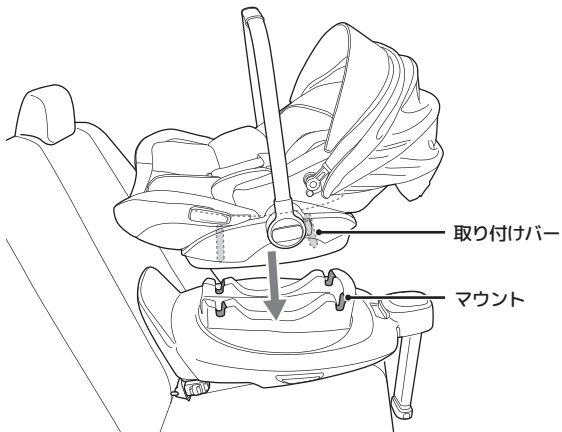
「nuna BASE next」のセーフティインジケータのサポートレッグ部と回転ロック部が両方とも緑色になっていることを確認してください。



インジケータのいずれかが赤色の場合は、本製品を取り付けしないでください。「nuna BASE next」の取扱説明書を参照して、インジケータが緑色になるようにしてください。

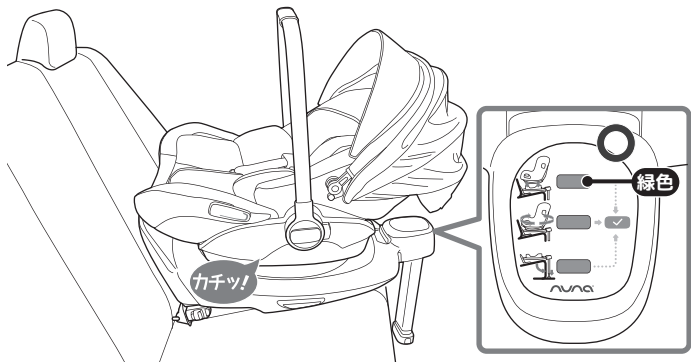
03

本製品を自動車の進行方向に対して後ろ向きにして、「nuna BASE next」の前後にあるマウントの位置に、本製品の底面前後にある取り付けバー（金属棒）を合わせて下ろします。



04

そのままカチッと音がするまで本製品を押し込み、しっかりと固定されたことを確認します。「nuna BASE next」のセーフティインジケータのシート類の固定部が緑色になっていることを確認してください。赤色になっている場合は、取り付けなおしてください。

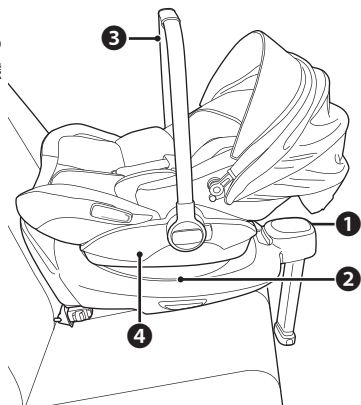


05

キャリーハンドルを引き上げて、本製品が「nuna BASE next」にしっかりと固定されていることを確認してください。

06

以下のチェックリストを確認します。一つでも正しくない部分があれば、正しい状態になるよう操作しなおしてください。



チェックリスト

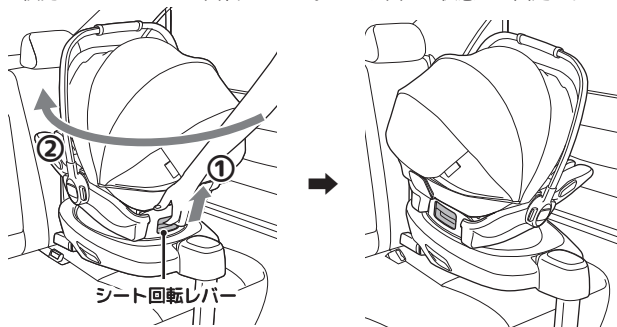
- ① 「nuna BASE next」のセーフティインジケーターがすべて緑色になっていること。
- ② 「nuna BASE next」が正しい状態で自動車の座席に取り付けられていること。
- ③ キャリーハンドルがキャリーポジションで固定されていること。
- ④ 本製品がぐらつきや傾きなく、「nuna BASE next」に正しく固定されていること。

nuna BASE next（別売）の回転機構

「nuna BASE next」の回転機構を使うと、お子さまの乗せ降ろしをしやすいことができますが、車種や座席位置によっては、回転機構を使用すると本製品が自動車の構造物に干渉することがあります。本製品や自動車の破損につながるおそれがありますので、そのような座席では回転機構を使用しないでください。

01

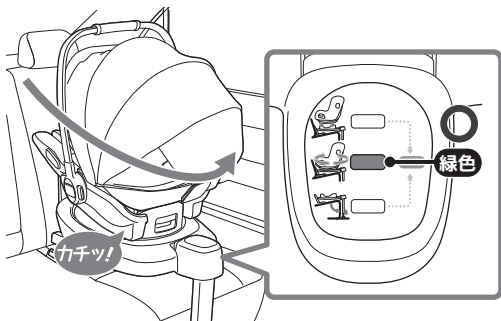
「nuna BASE next」の、①シート回転レバーを引き上げて、②本製品を回転させます。台座は横向きになるまでしか回転しません。また、回った状態では固定されません。



💡ポイント 本製品を「nuna BASE next」に取り付けたまま、お子さまを乗せ降ろしする際に回転機構を使用します。

02

お子さまの乗せ降ろしなど、目的の作業が終わったら、台座を回転させて本製品を後ろ向きにしてロックします。「nuna BASE next」のセイフティインジケーターの回転ロック部が緑色になっていることを確認してください。本製品を軽く動かして、台座の回転機構がロックされていることを確認してください。



⚠ 警告 「nuna BASE next」使用時には、お子さまの乗せ降ろしなどの必要がない限り、本製品を後ろ向きにして必ず回転をロックしてください。ロックされていないと、突然台座が回転して、思わぬ事故につながるおそれがあります。

本製品の取り外し

「nuna BASE next」から本製品を取り外す場合、あらかじめ本製品を後ろ向きの状態にして台座の回転機構をロックしておいてください。

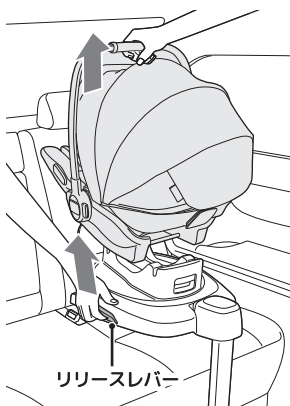
01

「nuna BASE next」のリリースレバーを握って本製品の固定を解除し、本製品をゆっくりと持ち上げて取り外します。

お子さまを乗せた状態で取り外す場合は、お子さまの様子を見て、慎重に操作してください。

取り外した本製品を車外に出します。

💡ポイント リリースレバーは左右にあります。いずれか一方を操作すればシート類を取り外すことができます。



⚠️注意 本製品を取り付けた状態で「nuna BASE next」を自動車の座席から取り外さないでください。必ず本製品を取り外してから「nuna BASE next」を取り外すようにしてください。

その他の使いかた

本製品は、チャイルドシートとして使用するほか、以下の用途で使用することができます。いずれの使用方法でも、お子さまの乗せかたや、使用するにあたっての注意事項はチャイルドシートとして使用する場合と同様です。お子さまの身体を正しく調節されたハーネスでしっかりと固定してご使用ください。

ベビーキャリア

キャリアハンドルを、キャリアポジションにして使用します。

ロッキングチェア

キャリアハンドルを、ロッキングポジションにして使用します。

本製品の底面が固定されず、前後に揺らすことができます。

インファントチェア

キャリアハンドルを、チェアポジションにして使用します。

本製品の底面が固定されるので、お子さまを座らせる簡易な椅子として使用できません。

ベビーカー用のシート

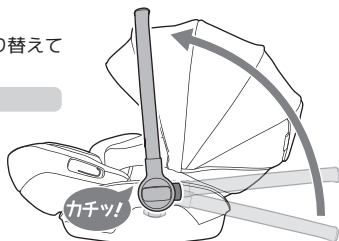
当社が指定するベビーカーのシートとして使用することができます。

ベビーキャリアとして使用する

01

キャリアハンドルをキャリアポジションに切り替えておきます。

参照 P40-41 > キャリアハンドル



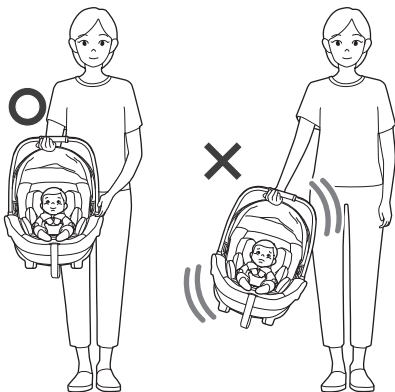
キャリアハンドルがキャリアポジションでしっかりと固定されていることを確認し
警告 してください。
お子さまがハーネスを正しく装着していることを確認してください。

02

地面に対して水平になるように注意しながら、キャリアハンドルを片手でしっかりと握るか、またはキャリアハンドルに腕を通して肘に掛けて持ちます。ゆっくりと持ち上げるようにしてください。

使用中は、本製品を地面に対して水平に保つようにしてください。

両手で持つこともできますが、この場合、本体を地面に対して水平に保つことが難しくなりますので、より注意するようにしてください。

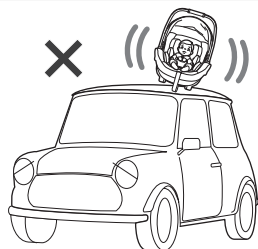


お子さまが落下したり、ケガをするおそれがありますので大きく振ったり揺すったりしないでください。

本製品が落下するなどして重大な事故につながるおそれがあります。高所、不安定な場所、危険のある場所に置かないでください。車の屋根の上に置く、ショッピングカートに乗せる、テーブルや椅子の上に置くなどしてはいけません。



警告



本製品を持ち運ぶ際には水平に保つようにして使用してください。

狭い通路や急な曲がり角、階段や段差のある場所、家具調度品のある室内では他のものや構造物に接触しないよう慎重に取り扱ってください。



注意

本製品を持って走らないでください。過剰な振動が加わるとお子さまに悪影響をおよぼすおそれがあり、最悪の場合にはお子さまが落下するおそれがあります。

04

地面に置くときは平らで安定した場所で安全を確かめてから、優しく置いてください。



ポイント

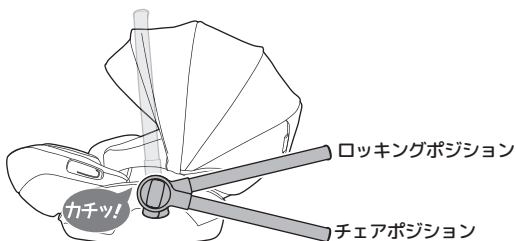
キャリーハンドルがキャリーポジションの場合、本製品の底面は安定せずにロックポジションと同様の状態になります。必要に応じてキャリーハンドルをチェアポジションに切り替えてください。

ロッキングチェア・インファントチェアとして使用する

01

キャリーハンドルを切り替えて使用します。

ロッキングチェアとして使用する場合はロッキングポジションに、インファントチェア（簡易椅子）として使用する場合にはチェアポジションにそれぞれ切り替えます。



参照 P40-41 > キャリーハンドル

ロッキングポジションでは、本体を前後に揺らすことができます。

💡ポイント チェアポジションでは、本製品底面が前後の揺れを止めて安定しますので、インファントチェアとして使用することができます。

02

ロッキングチェアとして使用する場合は、ゆっくりと優しく前後に揺らしてください。



ブースターチェア（大人用の椅子の上に乗せて使用する）としては使用できません。本製品が落下して重大な事故につながるおそれがあります。

不安定な場所や高所では使用しないでください。本製品が落下したり、挟まったりして重大な事故につながるおそれがあります。またお子さまを乗せて使用していない場合も本製品を安定しない場所や高所に置かないでください。

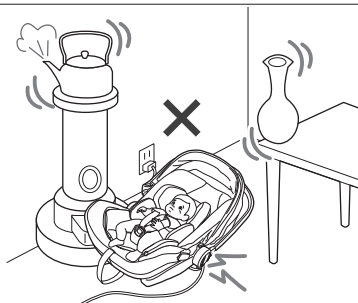
大人の方の監視の元で使用してください。使用中はお子さまを放置してはいけません。必ず大人の方が付き添うようにしてください。

本製品は就寝用のベッドとしての使用には適しません。お子さまの健康に重大な影響をおよぼすおそれがあります。

ロッキングチェアとして使用する場合、強く揺らさないでください。お子さまがぐずった場合などに強く揺らしても効果はなく、お子さまにとって過度の負担となるおそれがあります。

⚠ 警告

重大な事故につながるおそれがありますので、暖房器具やコンセント、ドア、窓、階段の近くや、落下すると危険な物の近くに本製品を置いて使用しないでください。またお子さまに暖房、冷房、扇風機などの風が直接あたる場所でも使用しないでください。



⚠ 注意

お子さまの健康のため、長時間にわたる連続使用は避けてください。特にロッキングを長時間続けると、乗り物酔いと同等にお子さまの気分が悪くなるおそれがあります。またおう吐、窒息のおそれがありますので、授乳直後や食事直後の使用は避けてください。使用中は常に大人の方が付き添ってお子さまの様子を確認するようにしてください。

ベビーカー用のシートとして使用する

本製品は、当社が指定するベビーカーに取り付けてベビーカー用のシートとして使用することができます。

使用方法についてはベビーカーの取扱説明書をご参照ください。

当社が「取り付け使用可能」と明示しない限り、他のベビーカーに取り付けて使用してはいけません。対応外のベビーカーに取り付けると本製品が落下して思わぬ事故につながるおそれがあります。



警告

当社のベビーカーでも対応しない場合もありますので、あらかじめご確認ください。

ベビーカーに本製品を取り付けてもベビーカーの乗員数は変わりません。

ベビーカーを正しく使用してください。本書とあわせて、必ずベビーカーの取扱説明書をご確認ください。

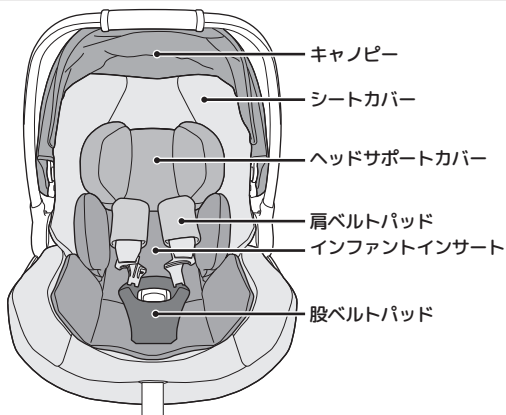
お手入れのしかた

カバー類の取り外し、取り付け

お手入れのために、以下の縫製品を取り外すことができます。

お手入れ後は、取り外した縫製品を必ず（インファントインサートは必要に応じて）取り付けなおしてください。

※キャノピーは、取り外した状態でも使用することができます。



シートカバー、ヘッドサポートカバー、肩ベルトパッド、股ベルトパッドを取り外して使用しないこと。インファントインサートは、お子さまの成長に応じて取り付け、取り外します。チャイルドシートとして所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがありますので本取扱説明書で別段の指示がない限り、部品を取り外して使用しないでください。シートカバー、ヘッドサポートカバー、肩ベルトパッド、股ベルトパッドは、安全に関わる重要な部品ですので、決して取り外して使用しないでください。また、同様に本製品に使用されている、ウレタンなどの衝撃緩衝材、本製品に貼られているラベルやシールも安全に関わる重要な部品ですので、決して取り外したり、はがしたりしないでください。



警告

お子さまが本製品の内部機構に手や指を差し入れてケガをするおそれがありますので、お手入れなどのためにシートカバーなどを取り外したら、取り付け直すまでの間は、本体をお子さまの手の届かない場所で保管するようにしてください。

シートカバーを取り外すと、本製品の内部機構が見える状態になります。内部の機構に手を加えたり、触らないようにしてください。また、内部にゴミなどが入ると誤作動につながるおそれがありますので、シートカバーを取り外した本製品に覆いを被せるなどして、ホコリやゴミが入らないよう適切に保護してください。

キャノピー

以下を参照してキャノピーを取り外し、取り付けます。

キャノピーを取り外さないと、シートカバーの取り外しはできません。

参照 P37-40 >キャノピー

インファントインサート

以下を参照してインファントインサートを取り外し、取り付けます。

参照 P36-37 >インファントインサート

股ベルトパッド

以下を参照して股ベルトパッドを取り外し、取り付けます。

参照 P36 >インファントインサート>取り外しかた

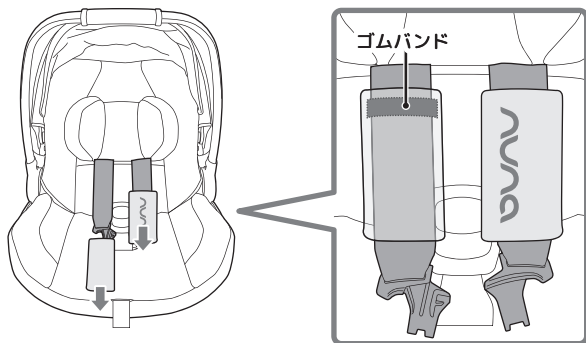


ポイント 股ベルトパッドを取り付ける際には、股ベルトパッド内部のゴムバンドを正しく受けバックル（股ベルト）に通してください。

肩ベルトパッド

01

バックルを外して肩ベルトパッドの内側にあるゴムバンドからハーネスと差込みタンクを抜いて肩ベルトパッドを取り外します。



02

取り付ける場合は逆の手順で行います。肩ベルトパッド内側のゴムバンドにハーネスを通してください。肩ベルトパッドは上図を確認して取り付けてください。

警告 肩ベルトパッドを取り外した状態では絶対に使用しないでください。衝突や急制動の際にお子さまが適切に保護されず思わぬ事故につながるおそれがあります。

シートカバー

お手入れのためにシートカバーを取り外します。

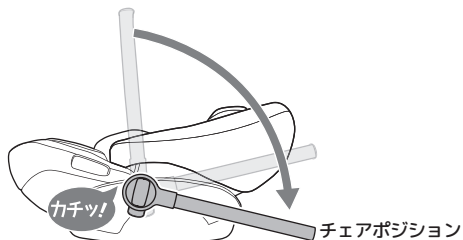
注意 シートカバーの取り外し、取り付けの作業中に本体のウレタンなどの衝撃緩衝材にキズを付けないように注意して操作してください。ウレタンなどの衝撃緩衝材は取り外すことができません。

01

キャノピー、インファントインサート、肩ベルトパッド、股ベルトパッドを取り外しておきます。

02

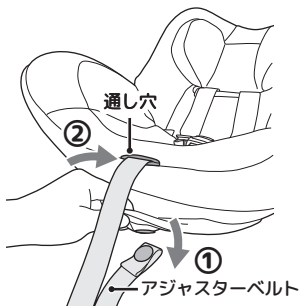
キャリーハンドルをチェアポジションに切り替えます。



参照 P40-41 > キャリーハンドル

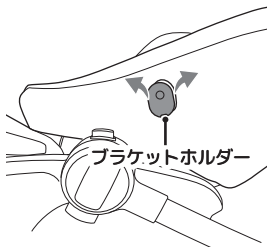
03

シートカバー先端部の裏側に留めてある①アジャスターベルトの面ファスナーを外して、②アジャスターベルトをシートカバーの通し穴から抜き取ります。



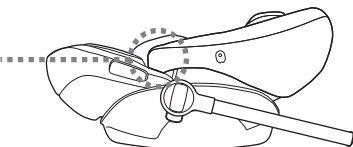
04

左右側面でキャノピーのブラケットホルダーにたくし込んであるシートカバーを外します。左右とも同じようにしてください。



05

背もたれ部側面左右の樹脂部に被せてあるシートカバーを外します。左右とも同じようにしてください。

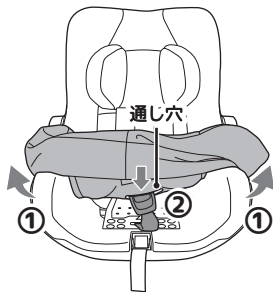


06

①先端部に被せてあるシートカバーを外します。左右両側から外してください。②受けバックル(股ベルト)を、シートカバーの通し穴から抜き取ります。

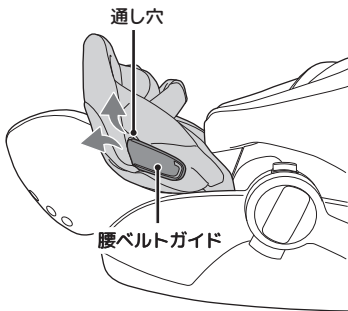
⚠注意

腰ベルトガイドにシートカバーが通されているため、この時点でシートカバー全体は取り外せません。ここでは前端部のみ外します。破損につながるおそれがありますので、無理に全体を外そうとしないでください。

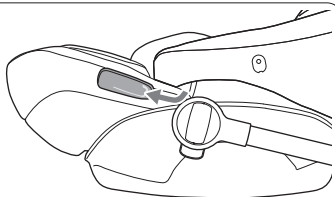


07

シートカバーの通し穴から腰ベルトガイドを抜き取ります。腰ベルトガイドの前方から抜き取るようにしてください(後方からは抜き取れません)。通し穴が小さく操作は固めなので注意して抜き取ってください。左右とも同じようにして抜き取ります。

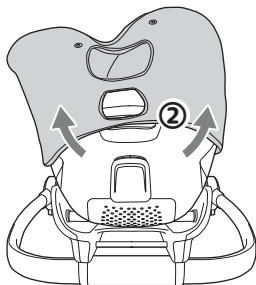
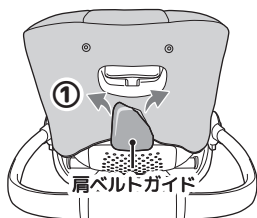


シートカバーを取り付ける際には、
💡ポイント 通し穴を腰ベルトガイドの後ろ側
から差し入れてください。



08

①背面で肩ベルトガイドにたくし込んである
シートカバーを外して、②シートカバーを外し
ます。



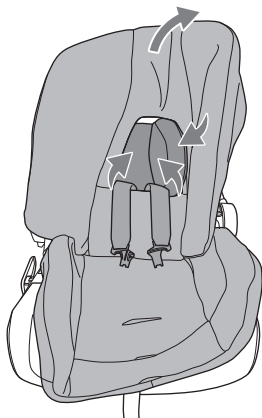
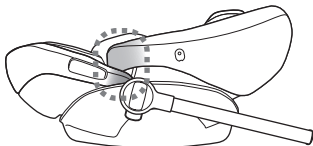
09

シートカバー前面の開口部から、ヘッドサポートと肩
ベルトを抜いて、シートカバーを取り外します。

10

取り付ける場合は逆の手順で行います。

⚠️注意 シートカバーを取り付ける際には、本体
側面の樹脂部（背もたれ、座面）にそれ
ぞれカバーをしっかりと被せてください。



ヘッドサポートカバー

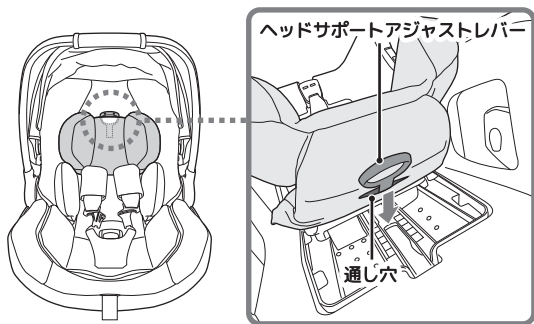
お手入れのためにヘッドサポートカバーを取り外します。シートカバーを先に取り外さないで、ヘッドサポートカバーは取り外しできません。

01

シートカバーを取り外しておきます。

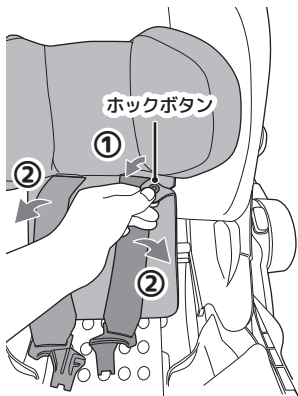
02

ヘッドサポート裏側のヘッドサポートアジャストレバーを、ヘッドサポートカバーの通し穴から抜きます。



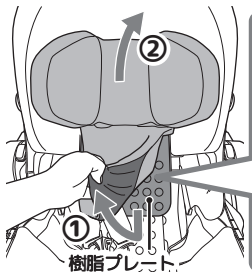
03

ヘッドサポートの上部と背もたれ部分を留めている①左右のホックボタンを外して、②肩ベルトを外します。左右とも同じようにしてください。

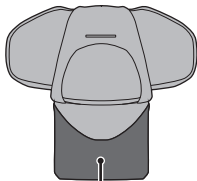


04

①ヘッドサポート下部のポケットに差し込まれている樹脂プレートを抜いて、②ヘッドサポートカバーを取り外します。



※図はヘッドサポートカバーを背面から見た状態です

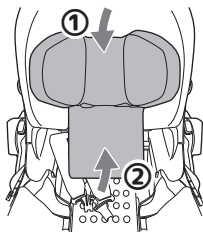


ポケット

05

取り付ける場合は逆の手順で行います。

⚠注意 ヘッドサポートの衝撃緩衝材が破損するおそれがありますので、必ず①上部、②下部の順でヘッドサポートカバーを取り付けてください。



お手入れの方法

カバー類

以下のカバー、パッド類は洗濯機で洗濯が可能です。
注意事項をお守りいただき、お手入れしてください。

シートカバー

肩ベルトパッド

股ベルトパッド

以下のカバー類は洗濯機で洗濯が可能です。手洗いをお勧めします。
注意事項をお守りいただき、お手入れしてください。

ヘッドサポートカバー

インファントインサート

※内部にクッション材が使用されているため、乾燥に特に時間がかかります。カビや劣化の原因になりますので、しっかりと乾かしてから本体に取り付けるようにしてください。

- 液温 30℃以下の水で洗濯機での通常の洗濯が可能です。
- 洗濯機で洗う場合は洗濯ネットに入れてください。
- 汚れがひどい場合には中性洗剤を使用してください。洗剤を使用した場合には、しっかりとすすいで洗剤を完全に落としてください。
- 軽く絞って、形を整え、日陰で陰干ししてください。
- よく乾かしてから取り付けてください。
- 洗濯する際には留めることができる面ファスナー、ホックボタンは留めておいてください。



禁止

- ・漂白剤は使用できません。
- ・タンブル乾燥はできません。
- ・アイロンは使用しないでください。
- ・商業クリーニング、ドライクリーニングはしないでください。
- ・ガソリン、シンナーなどの有機溶剤を使用しないでください。
- ・きつく絞らないでください。



ポイント

ヘッドサポートカバー、インファントインサートにはクッション材が多く使用されていますので乾きにくくなっております。しっかりと乾かしてから本体に取り付けなおしてください。

キャノピー

キャノピーは洗濯することができません。変形、変質するおそれがありますので、水に浸さず、ブラシで汚れを落とすか、お湯または水に浸して、きつく絞った柔らかい布で汚れをふき取るようにしてください。

本体（ISOFIX コネクター部を除く）

- 本体の樹脂および金属部分は、お湯または水を浸してきつく絞った柔らかい布で汚れをふき取ってください。汚れがひどい場合には水で薄めた中性洗剤を浸してきつく絞った柔らかい布で汚れをふき取ってください。洗剤を使用した場合は、お手入れ後に洗剤をしっかりとふき取ってください。
- ウレタン等の衝撃緩衝材は、お湯または水を浸してきつく絞った柔らかい布で汚れをふき取ってください。洗剤等は使用しないでください。



危険

水を直接かけないでください。サビが発生し、本製品が正常に機能しなくなるおそれがあります。

油類などの潤滑剤は使用できません。

市販のウエットタオル（ウエットティッシュ）や赤ちゃんのお尻ふきは、樹脂部分のお手入れに使用しないでください。含まれる成分によっては、樹脂が劣化、変質するおそれがあります。

⚠️注意

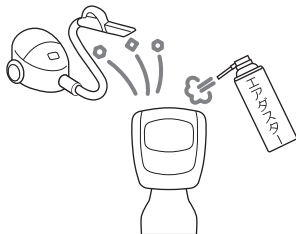
ガソリン、シンナーなどの有機溶剤、その他の溶剤を使用しないでください。樹脂部品に影響を与え、ウレタンなどの衝撃緩衝材を溶解し、変質、変形させるおそれがあります。

ハーネス・ベルト類・受けバックル・差込みタンク

ハーネス、アジャスターベルト、股ベルトは取り外しできません。本体に取り付けたままお手入れしてください。

お湯または水に浸してきつく絞った柔らかい布で汚れをふき取ってください。洗剤類は使用しないでください。

受けバックルの内側は、ご家庭の掃除機でゴミやほこりを吸い取るか、市販のエアダスターで中のゴミ、ほこりを吹き飛ばすようにしてください。



保管のしかた

長期間使用しない場合は自動車の座席から取り外した上で正しく保管してください。

ほこりやゴミがバックル内に入らないように保管時には本製品のバックルを留めておくようにしてください。

直射日光の当たらない、寒暖差の激しくない、湿気の少ない室内で保管してください。

雨風のあたる場所、露天では保管しないでください。

本製品の上に物を載せて保管しないでください。

廃棄のしかた

本製品を廃棄する際には、お住まいの自治体の指示に従い、正しく廃棄するようにしてください。

また、再利用による事故を防ぐため「廃棄品」と明示した上でシートカバーを破るなどして再利用ができない状態にして廃棄するようお願いいたします。

保証書

保証期間	お買い上げ日より1年間		
製品名	nuna arra flex (ヌナ アーラ・フレックス)		
お買い上げ日			
お客様	ご住所	お買い上げ 販売店名	店名
	〒		住所
	お名前		電話番号
	電話番号		

本製品の保証は、規定の内容に従いお買い上げ日から1年間有効となります。お買い上げ日やお買い上げいただいた販売店名が不明の場合保証の対象となりませんので、お買い上げいただいた際のレシートや領収書等を本取扱説明書と一緒に保管するようにしてください。

1. 保証期間中に正常な使用状態において、万が一故障が発生した場合には無償で修理いたします。ただし、ご購入時の初期不良の場合を除いて、修理に要する送料はおお客様にご負担いただきます。

2. 保証期間内であっても次のような場合には、有償での修理となります。

- ・本保証書原本の提示がない場合（コピーされた保証書は無効です） および記入事項の字句に書き換えが認められる場合
- ・お客様ご自身が、本製品を新品でご購入されたことを証明できない場合

- ・本取扱説明書および製品本体に表記されている指示内容に従わなかったために生じた、故障、破損、不良の場合
 - ・正常な使用、お手入れにより生じた傷や汚損、破損、日焼けによる表面の劣化、シートカバー類、ベルト類等縫製製品のほつれの場合
 - ・部品の紛失の場合
3. 次のような場合には、安全のため、保証期間、有償、無償に関わらず修理することができません。
 - ・事故や落下などの強い衝撃を受けたことにより生じた故障、破損、汚損の場合
 - ・誤使用、または改造、不当な分解によって発生した故障、破損、汚損の場合
 - ・本保証書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記載のない場合
 - ・並行輸入品や海外で購入された製品の場合
 - ・業務用、レンタル等、一般家庭外で使用されている場合
 - ・中古品の場合
 - ・本製品に貼り付けられているシール類がはがされている場合
 - ・本製品の製造が終了し、修理に必要な部品が無い場合
 4. 本製品を正しく使用することにより生じた、自動車の座席表面やシートベルトの傷、取り付けあと等は保証いたしかねます。
 5. 一度でもご使用になった製品のお取り換えはできません。
 6. 保証は日本国内においてのみ有効です。

本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

※製品は万全を期して製造しておりますが、万が一不都合な点がございましたら弊社お客様サービスまでお問い合わせください。

※性能向上のため、予告なく仕様を変更する場合があります。

※本書に記載いただいた個人情報につきましては、個人情報保護法の規定を準拠し、本保証に関わる範囲においてのみ使用いたします。

(本製品に関するお問い合わせ先)

株式会社カトージ お客様サービス

電話：0568-67-5701 平日10~17時（土日祝日を除く）

www.katoji.co.jp

(nuna日本総代理店)

株式会社カトージ 〒484-0894 愛知県犬山市羽黒北金屋39-2

シシート等を貼り付けてください

The Nuna logo is a stylized, white, lowercase 'nuna' with a registered trademark symbol (®) to its upper right. The letters are rounded and connected, giving it a modern, clean appearance.

Find out more at **nunababy.com**